

県食育推進計画タウンミーティング等の実施状況について

1 これまでの開催状況について（平成 18 年 12 月 4 日時点で整理）

（1）タウンミーティング（地域での開催）

	実施日	地域名	会場及び内容	参加者数
1	8月9日(水) 13:30~16:30	長 生	茂原市役所別棟「市民室」 ・講演 榊田みどり氏(農政ジャーナリスト) 「なぜ食育」 ・タウンミーティング	190 人
2	9月19日(火) 13:15~16:30	君 津	かずさアカデミアホール会議室 ・講演 遠藤陽子氏(千葉自然学校事務局長) 「食を取り巻く状況について」 ・タウンミーティング	177 人
3	9月21日(木) 13:00~16:30	夷 隅	いすみ市大原文化センター大ホール ・講演 室田洋子氏(聖徳大学教授) 「地域で育てる食卓」 ・タウンミーティング	189 人
4	10月7日(土) 13:00~16:30	東葛飾	行徳文化ホール I&I ・活動事例発表；千葉伝統郷土料理研究会 市川支部、野田市立二ツ塚小学校、ちば食育 ボランティア(農業者)、浦安市(健康増進課)、 生活協同組合エル ・タウンミーティング	250 人
5	10月20日(金) 13:00~16:30	千 葉	千葉県文化会館小ホール ・講演 サカイ優佳子氏(フードコンサルタント) 「感じる食育 楽しい食育」 ・活動事例発表；八千代食育ネット、千葉市 (健康企画課)、習志野市(教育委員会) ・タウンミーティング	121 人
6	10月31日(火) 13:00~16:30	海 匝	東総文化会館小ホール ・講演 服部津貴子氏(服部栄養料理研究会会長) 「食文化の伝承と食育のすすめ」 ・パネルディスカッション テーマ「広げよう食育」 コーディネーター 旭市農水産課長 ちば食育ボランティア(食生活改善活動者)、 銚子市立本城小学校、ふれあいパーク八日市場、 銚子漁協女性部長 ・タウンミーティング	309 人

7	12月4日(月) 13:30~16:00	安房	南房総市白浜フローラルホール ・講演 安部司氏(食問題ジャーナリスト) 「あなたは何を食べていますか」 ・事例発表；館山市保健推進協議会長、南房総市立南小学校、三芳村蛭まい研究会 ・タウンミーティング	602人
---	-------------------------	----	--	------

(2) ミニタウンミーティング（個別対象者等と開催）

	実施日	相手先(団体等名)	意見の視点、テーマ	参加者数等
1	8月7日(月)	学校栄養士会	学校栄養職員からの意見	37人
2	9月6日(水)	「ちばの食育 2006」 実行委員会	食育活動全般	17団体
3	9月11日(月)	東京電力(株)千葉支店	取組み企業からの意見	8人(食育サポート企業)
4	9月14日(木)	アグリライフちば	取組み農業者からの意見	22人(食育ボランティア)
5	9月16日(土)	石井食品(株)	食品企業からの情報発信、 関わり等の意見	3人(食育サポート企業)
6	9月22日(金)	ちばコープ生活協同組合	食育活動全般	10人
7	9月27日(水)	千葉県立衛生短期大学	大学生との意見交換 関心のない世代に関心を持たせるには	8人学生、指導者
8	10月5日(木)	千葉県食生活改善協議会	地域での食生活改善の 取組みに係るアイデア	50人、地区会長
9	10月10日(木)	八千代市保育所関係者	乳幼児・家庭・地域の食育	12人
10	10月14日(土)	学童クラブ風の子 シュワッチ(西千葉)	子育て中の働く親との 意見交換	18人
11	10月16日(月)	サンケイリビング 新聞社(株)千葉県本部	普及浸透のための啓発	2人
12	10月19日(木)	千葉市内公立中学校	中学生との食育授業(バラ ンスの良い食事について)	60人
13	10月29日(日)	千葉の子ども健康対策 懇談会出席保護者	健康三原則(食事・休養・運 動)を通し、基本的な生活習 慣の確立(分科会で意見交換)	111人
14	—	(社)千葉県歯科医師会	地域保健医療委員会から「幼児 期の食育と歯科の関わり」をテ ーマに意見の提出を得た。	地域保健医療 委員会メンバー 10人
15	—	千葉県立松戸国際高 等学校	高校生からの意見、提案を 授業で取りまとめた。	1年生と3年生

2 タウンミーティングでの講演概要

(1) 榊田みどり氏(農政ジャーナリスト)H18. 8. 9 長生地域

①演題 「なぜ食育」食農教育のヒント～次代を担う子どもたちに伝えたいこと～

②要旨

- ・日本の食構造、国民の食生活や食の価値観を見直すきっかけとするには、単なる農作業体験ではなく、農業者等がメッセージを込めて“いのちを伝える”食農教育が必要。
- ・食は生理的、精神的、社会的、文化的、教育的機能という多面的な機能を持っている。
- ・食農体験を地域で実践する場合は、「できることから始める」ことが必要。

(2) 遠藤陽子氏(千葉自然学校事務局長) H18. 9. 19 君津地域

①演題 「食を取り巻く状況について」

②要旨

- ・戦後 60 年、日本人の食生活は大きく変わり、現在は飽食・崩食の時代である。そうした飽食の中で、日本人は健康に暮らす知恵や技、食に関する感謝の心などを忘れてしまった。
- ・それぞれが実際の生活の中で実践している食に関する知恵や技こそが、これからの食育を推進する上で大切になってくる。
- ・知恵や技を自分のものにし、身に付いた知識としていくことが重要。
- ・「活動者同士や活動自体を繋げていくこと」が大切。

(3) 室田洋子氏(聖徳大学人文学部教授) H18. 9. 21 夷隅地域

①演題 「地域で育てる食卓」

②要旨

- ・食卓はコミュニケーション能力を鍛える場である。
- ・子どもたちにとって、それぞれの家庭の食卓はどれも「ふつう」と感じている。いつものものを普通に食べ、食卓を囲み、みんなが同じ視線で、話しをしながら、聞き上手がいる、こうした「ふつう」の食卓が大切。
- ・多くの子ども達は「かかわりのある食卓状況」を求めている。食事時間がバラバラでも夜のティータイムを共有するなどの工夫も大切。
- ・食卓でひとは何を食べているのか。食べ物だけでなく、気配り、センス、心の規範、文化、仕草、考え方を食卓から得ている。
- ・食卓は、年齢と共に変わっていく「発達課題」を解決していく場である。関わりは大きな人間力をつくっていく、食卓にその力がある。

食卓が家庭の絆の集積であり、家庭の最後の砦である。

(4) サカイ優佳子氏(フードコンサルタント) H18. 10. 20 千葉地域

①演題 「感じる食育 楽しい食育」～食育の新しい視点～

②要旨

- ・何を食べるかを選ぶことができるのはとても幸せなこと。
- ・食を巡る状況や食べることの意味が変化してきた今だからこそ、食を楽しむ姿勢を養うことが必要。
- ・先入観にとらわれることなく、自分の五感を使って味わうこと。
感じたことを自分の言葉で表現する。自分で考え、自分の手を動かすことが食育の入り口となる。
- ・私たちが何を食べるかで世界の環境や経済等に影響を与えている。何を食べるかということは、個人の問題にとどまらない時代になっている。

(5) 服部津貴子氏(服部栄養料理研究会会長) H18. 10. 31 海匝地域

①演題 「食文化の伝承と食育のすすめ」

②要旨

- ・食育の三本柱は、
「バランスのとれた健康的な食生活を実践する能力を身につける」
→食品が安全か、危険かを見極める力の養成、おいしい料理と環境整備が健康を創る、手作り料理を増やす
「幼い頃から躰やマナーを身につける」
→食べ方や箸・ナイフの使い方の指導、食べ物の好き嫌いをなくす方法の検討、「いただきます」「ごちそうさま」の習慣
「環境問題や食糧問題を考える」
→農業・漁業・酪農や人口問題を考える力の育成、リサイクル・ムダや残飯をなくす習慣、エネルギー問題に目を向ける意識
- ・食に関する法律の制定は世界ではじめてのこと。
- ・食育により健康で長生きのできる、また、人に自然に優しい人間を形成していくことができる。

(6) 安部司氏(食問題ジャーナリスト)H18. 12. 4 安房地域

①演題 「あなたは何を食べていますか。」～小さな選択が食と心を変える～

②要旨

- ・消費者は、頭では健全な食生活が良いと分かっている。しかし、実際には「簡単、便利、安い、美しい、味が濃い」ことを重視した生活(購買活動)をしているため、ニーズに合った食品提供の結果、いまのような食や食文化の崩壊が起きてしまっている。
- ・簡単、便利、安くて無添加なんて存在しない。自分で食品を選べるように力を

つけることが必要。

- ・子どもは親のうしろ姿を見ている。食を通して、家族の絆を取り戻したり、子どもの教育を考えたりすることが必要。

3 ミニタウンミーティングでの学生を対象にした取組

(1) 千葉県立衛生短期大学 H18. 9. 27

テーマ；食育に関心のない人（若い世代）に関心を持たせるためには

手順；ポストイット法を一部用いながら、テーマに関する課題や問題意識を整理し、解決策を探った。

①食生活に関する問題意識や課題の把握のために項目別に意見をまとめる

ア 普段の食生活や食事内容で気にしていることは何ですか？

- ・お金や時間を中心に考えている人が多いのではないか。

イ 食生活に関する若者の問題意識は？

- ・安全性を気にしている一方で、今が健康なため「食」があと回しになっている。

ウ 若者の食生活のどこが問題？

- ・料理をしない人の増加など食への関心が薄い一方で、ダイエットなど一部の情報には関心が高いため偏った食生活を送っている傾向もみられる。

エ 食育は必要ですか？その理由は？

- ・必要＝食の知識、食への意識、食を選択する力が生きていく上で大切だから。

②解決策を考える

- ・大人になってからでは修正がきかないので、子どもの頃にしっかりと身につくような指導と家庭での取り組みが重要。
- ・食への関心が高くない人でも情報は求めているので、きっかけとなるような料理体験や食事バランスガイドの実践等から関心をもってもらえるようにする。また、手に届くところに情報がないので、相談できる場所や Q&A の発行など情報提供の場づくりが必要。

(2) 千葉市内公立中学校 H18. 10. 19

手順1；全校生徒を対象に「食習慣の実態」や「一日の献立」についてアンケート調査を実施した。

手順2；2年生を対象に食育に関する授業を実施した。

①スライドにより食生活指針のイエス・ノー診断を行う

②特徴的な食事についてのビデオ鑑賞→感想を聞く

③事前に行ったアンケート「一日の献立について」の結果を見ながら感想を聞く

④事前に行ったアンケート「食生活について」の結果を見ながら感想を聞く

⑤この授業を受けての感想を記入してもらう

感想から：

- ・骨粗鬆症について学んでみて、食生活のバランスを考えて食事をしようと思った。
- ・ビデオを見たのは家族の中で私だけだし、これを一人だけで直していくのではなく、

みんなにも色々な事を言って、みんなで食生活をかえていきたい。

- ・ 今日学んだ食育の目指す5つの能力（食べ物を選択する、味がわかる、料理する、食べ物の育ちを感じる、元気なからだのわかる）を心にとめてこれからの自分の食生活を見直していこうと思います。

（3）千葉県立松戸国際高等学校（1年、3年） H18.11.14

テーマ；現代の食生活の課題を理解し、解決に向けて主体的に考える

1年①教科書、資料集を参考に食生活の問題点を発表し合い、プリントに整理し、なぜいま食育が必要なのかを確認する

②いくつかの問題点の中から、一つ選び、解決案を考える

③グループ内で自分の案を発表し合い、その後、グループ代表がクラス内で発表

意見から：

- ・ 家庭や家族の団欒、地域とのつながりを大切にする。
- ・ 栄養士など専門家といつでも食生活について相談、連絡できるようにする。
- ・ 地域で伝統料理教室を開催したり、給食に伝統料理を出すようにする。
- ・ 朝給食の提供や購買で購入できるようにし、朝ごはんの時間を設ける。

3年①食生活の問題点について解決したい点をチームで取り上げる

②原因と解決策について話し合う

③各自がそれぞれの問題点についての企画書を作成

意見から

- ・ 保育園や小学校で保護者向けの食講座を開催する。
- ・ 食に関する常識やマナーの検定やゲームをつくる。
- ・ 地域のお年寄りに集まってもらうなどして、公民館などで料理教室を開催する。
- ・ 朝食か夕食を週1回は家族そろって食べるようにし、外食に行く回数を決める。

4. 食育に関するアイデアや意見 (1,177件)

タウンミーティングやミニタウンミーティングの参加者及び県のホームページ上で食育に関するアイデアや意見を募集したところ、延べ872人から1,177件の意見が寄せられた。

【意見の内容は参考資料参照】

食育推進基本計画の「食育の総合的な促進に関する事項」の項目に沿って整理すると以下のとおり

1 家庭における食育の推進(232件)

- (1)現状と今後の方向性(61件)
- (2)生活リズムの向上(17件)
- (3)子どもの肥満防止予防の促進(3件)
- (4)望ましい食習慣や知識の習得(61件)
- (5)妊産婦や乳幼児に関する栄養指導(6件)
- (6)栄養教諭を中核とした取組(1件)
- (7)青少年及びその保護者に対する食育推進(73件)
- (8)その他(6件)

2 学校、保育所等における食生活の改善のための取組の推進(230件)

- (1)現状と今後の方向性(35件)
- (2)指導体制の充実(17件)
- (3)子どもへの指導内容の充実(55件)
- (4)学校給食の充実(70件)
- (6)保育所での食育推進(24件)
- (7)その他(29件)

3 地域における食生活の改善のための取組の推進(104件)

- (1)現状と今後の方向性(36件)
- (2)栄養バランスが優れた「日本型食生活」の実践(14件)
- (3)「食生活指針」や「食事バランスガイド」の活用促進(12件)
- (4)専門的知識を有する人材の養成・活用(20件)
- (5)健康づくりや医学教育等における食育推進(9件)
- (6)食品関連事業者等による食育推進(1件)
- (7)その他(12件)

4 食育推進運動の展開(289件)

- (1)現状と今後の方向性(146件)
- (2)食育月間の設定・実施(6件)
- (3)継続的な食育推進運動(48件)
- (4)各種団体等との連携・協力体制の確立(70件)
- (5)民間の取組に対する表彰の実施(1件)
- (6)国民運動に資する調査研究と情報提供(4件)
- (7)食育に関する国民の理解の増進(9件)
- (8)ボランティア活動への支援(1件)
- (9)その他(4件)

5 生産者と消費者の交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等(133件)

- (1)現状と今後の方向性(23件)
- (2)都市と農山漁村の共生・対流の促進(18件)
- (3)子どもを中心とした農林漁業体験活動の促進と消費者への情報提供(39件)
- (4)農林漁業者等による食育推進(4件)
- (5)地産地消の推進(46件)
- (7)その他(3件)

6 食文化の継承のための活動への支援等(40件)

- (1)現状と今後の方向性(32件)
- (2)ボランティア活動等における取組(2件)
- (3)学校給食での郷土料理等の積極的な導入やイベントの活用(2件)
- (5)関連情報の収集と発信(4件)

7 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進(77件)

- (1)現状と今後の方向性(34件)
- (2)リスクコミュニケーションの充実(1件)
- (3)食品の安全性や栄養等に関する情報提供(31件)
- (4)基礎的な調査・研究等の実施(3件)
- (5)食品情報に関する制度の普及啓発(2件)
- (6)地方公共団体等における取組の推進(6件)

8 その他(72件)

- (1)活動報告(19件)
- (2)分類できない提案(21件)
- (3)感想(32件)

【参考資料 食育に関するアイデアや意見の内容】

1 家庭における食育の推進(232件)

(1)現状と今後の方向性(61件)

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	方 向 性	提 案	活 動 事 例
								具 体 例	
1	・栽培を通して、食物の大切さや育てる苦労、工夫して調理することなどを学ぶことができるので、家庭菜園(ベランダやプランターでもいい)で野菜づくり(地域の農産物など)をする。また、育てたものを家族みんなで食べるなど、みんなと事を共有して行うことの大切さ、物を育てる感動を体験させることが必要。(14件)	夷隅、君津							1
2	・まず家庭から取り組む。料理をつくる楽しさ、食べる楽しさ、これらを教えるのはお母さんや家庭。子供の頃の記憶は大人になっても残るものなので家庭で実践することは大事。そのため親への教育が必要。(11件)	海匠、山武、長生、君津、松戸国際高校、FAX							1
3	・家族の健康を考えた食事づくりが大事であると理解しているが、働いているため時間がない。食育の推進が働く母親のプレッシャーとならないためにも、できることから徐々に取り組んでいこうということも必要。(3件)	市町村会議、ミニTM(保護者)	1		1		1		
4	・一昔前までは、台所や食卓が家族のコミュニケーションの場だった。親子で一緒に調理したり、料理を楽しく待てるような運動ができればいいと思う。(2件)	松戸国際高校、安房							1
5	・子育て中の母親に対して時間的に配慮するなり、サポートが必要だと思う。小学生を抱える親に対しての配慮はあまりないように思える。	長生	1	1					1
6	・食育の基本は家庭である。核家族が多くなったことに問題があると思う。イベントよりも日頃の世代間、親、子、孫などのつながりが大切だと思う。	市町村		1			1		
7	・食育は一人では成り立たない。家族という小さな単位で喜んだり、苦労したりする体験を通して、初めて実践に結びつく意義のあるものになる。一方通行では、依存的食育になりそう。	夷隅			1				
8	・子育て中には、家事労働の軽減を図るために外食を取り入れるなど上手に行うことも必要と考える。	ミニTM(保護者)							1
9	・身近に食べ物があふれていて、三食の食事はお腹が空いて食べること、待ち遠しいもの、しつけなどとはほど遠い環境となっている。	ミニTM(保護者)	1	1					
10	・実際の家庭の状況(つみれだんごを作るのにすりこぎがない等)を考えた取り組みをしないと日常の実践に結びつかない。	海匠		1					1
11	・関心をもってもらいたい家庭ほどなかなか思いが届かない。	海匠	1		1				
12	・食育の基本は家庭。共働きが増えているが親としての義務を果たしていない。学校や社会に責任転嫁するのはおかしい。	海匠	1	1					
13	・兄弟でも食事への執着が違う。	ミニTM(保護者)	1						
14	・朝食欠食でなくとも、パンだけ、ごはんだけの内容が多い。	長生	1						
15	・親子で参加でき「食」に関する情報を楽しく学べるシステムをつくる。	君津							1
16	・家族のコミュニケーションをとる場が減っているので、家族団欒を増やすようお昼も家に帰るなど努力する。	松戸国際高校							1
17	・小さい頃ほど家族とのコミュニケーションは大切なので、食生活の改善と親の働く時間を見直す必要があると感じた。	松戸国際高校					1		
18	・偏食の多い子供には、親子で料理することをすすめる。	松戸国際高校							1
19	・食事とは別に家族団欒の時間をつくる。	松戸国際高校							1
20	・家庭で食事の時間を決めて必ず家族が揃うよう心がける。	松戸国際高校							1
21	・家族同士でコミュニケーションをとるよう心がける。	松戸国際高校							1
22	・外食は避け、家族みんなで食事をとるようにする。	松戸国際高校							1
23	・親に教えるのはめんどろ。	松戸国際高校	1						
24	・朝食を抜くのは子供かもしれないが、親の注意不足が問題。	松戸国際高校		1					
25	・家族で一緒に食べる日を決める。	松戸国際高校							1
26	・共働きの両親のところでも孤食にならないような環境づくり。	松戸国際高校							1
27	・週1回は家庭料理をつくり食べるようにする。	松戸国際高校							1
28	・朝食か夕食、週1回は家族そろって食卓を囲むようにする。	松戸国際高校							1
29	・外食に行く回数を月で決める。	松戸国際高校							1
30	・おふくろの味を復活させるために、外食を減らして家庭で食事をとるようにする。	松戸国際高校							1
31	・家族一緒に食事するようにする。	松戸国際高校							1
32	・添加物で作られるインスタントの味ではなく、しっかりだしをとるなどして家庭の味を子どもに伝えていく。	安房							1
33	・食に関する正しい知識や情報を見たり聞いたりすることは多いが、それぞれの生活環境でそれをどう実践するかの知恵や工夫に関する情報がもっと欲しい。	安房				1			
34	・なるべく家庭料理をつくるように心がけて欲しいと思う。	安房				1			
35	・我が家では、朝食を一番早く出発するものに合わせて摂るように心がけている。また、食べなくても傍にしているようにしている。	香取							1

(2)生活リズムの向上(17件)

1	・子どもの頃から正しい食生活を送り、生活リズムを整えるような生活を心がける。(4件)	香取、君津、FAX							1
2	・食育の基本は家庭。「早寝・早起き・朝ごはん運動」を家族ぐるみで実践するなど、家族の生活習慣を見直し、生活リズムを整えることが大切。(3件)	香取							1
3	・大人たちを含めて夜型の生活を改める方法を検討し、生活リズムを整えることの大切さを広報して欲しい。(2件)	ミニTM(食改)				1			1
4	・早寝早起きを徹底させる。週1回TV放送を夜9時までにするなど。(2件)	君津、松戸国際高校							1
5	・体内時計を狂わすことなく、体を正常な状態に保って生活できるような食事を心がける。そのためには、お母さんへの指導が必要。(1-7にも掲載)	郵送							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例	
							方 向 性	具 体 例		
6	・残業や子どもの塾通いなど、夕ご飯時間にくつろぐことができない。今のライフスタイルに合わせた食生活を考えることが大切。	東葛飾		1	1					
7	・今は夜型生活が主流だが、早寝、早起きはとても大事なこと。	東葛飾							1	
8	・寝る時間をきちんととることが生活習慣の見直しにつながる。	東葛飾							1	
9	・朝食を欠食しないように早起きを心がける。	松戸国際高校							1	
10	・朝、昼、晩に食べる時間を決めて必ず家族がそろうようにする。	松戸国際高校							1	
(3) 子どもの肥満防止予防の促進(3件)										
1	・もっと体を使うことを奨励すべき。	夷隅					1	1		
2	・朝食の大切さや肥満児予防などについて、野菜を食べる大切さから伝えていきたい。	ミニTM(食改)							1	
3	・中高生を対象にした取り組みをして肥満予防につなげたい。	ミニTM(食改)							1	
(4) 望ましい食習慣や知識の習得(61件)										
1	・まず家庭から取り組む。朝食や晩御飯だけでも家族そろって食べる時間を決めたり、ご飯のあとにティータイムを作り話し合う時間を設けるなど、家族で食卓を囲むようにする。(17件)	夷隅、君津、松戸国際高校						1	1	
2	・家庭で小さい頃から食に興味を持つように料理や農作業体験させるなどして、食事づくりや食習慣、マナーを身につけさせる。(13件)	千葉、長生、夷隅、ミニTM(衛短、保育園、保護者)、松戸国際高校						1	1	
3	・家庭内で食事中に食の大切さや栄養のある料理などについて話し合い、コミュニケーションをとるようにする。(9件)	千葉、東葛飾、君津、松戸国際高校						1	1	
4	・家庭で一緒に食事をつくったり、食べたりして、親子の絆づくりをする。(3件)	長生、松戸国際高校							1	
5	・小さい頃から本物の味、旬の味を体験させる。(3件)	東葛飾、君津、ミニTM(保育園)							1	
6	・日本人の基本的な箸の持ち方や茶碗の持ち方ができない子が多い。小さいときから箸で豆をはさむ競争など楽しみながら正しい持ち方を指導すると良い。(2件)	千葉、君津							1	
7	・子どもに朝ごはんをしっかりと食べる習慣をつけさせるため、どんなに忙しい母親でもみそ汁だけでも手づくりして朝食をつくってもらいたい。(2件)	千葉、松戸国際高校					1		1	
8	・親や大人は子供の好きなものばかり食べさせない。(2件)	夷隅、松戸国際高校	1							
9	・子どもや夫婦など家庭内で一緒に料理づくりをする。(2件)	君津、松戸国際高校							1	
10	・ただのお料理発表会の料理コンクールではなく、生活の中で実践されている料理のコンクールをする。そうした生活に活かせる知恵や技術を掘り起こして伝えていくことがよいのではないか。	ミニTM(シンポ実委)							1	
11	・家庭の料理離れをストップさせるため、豊富な食材の生産地であることを活かして、料理をする喜びを体験してもらい、週1回は料理をしようという意欲を持たせる。	ミニTM(シンポ実委)							1	
12	・若いお母さんがコンビニ弁当を持って「忘れたわよ」というCM、手づくり弁当を推進する私としては、放送を止めてもらいたいと思っている。	夷隅					1			
13	・親子参加の料理講習会の開催。特に若いうちに料理の楽しさを学んでもらう。	FAX							1	
14	・「いただきます」、「ごちそうさま」を素直に言えることが大事。	長生							1	
15	・朝食を食べることを義務化して、学校の入り口に朝食探知機を設置する。	松戸国際高校							1	
16	・子供に朝食を食べさせることを義務化させる。	松戸国際高校							1	
17	・若いうちに好き嫌いをなくすよう努力する。	松戸国際高校							1	
(5) 妊産婦や乳幼児に関する栄養指導(10件)										
1	・子どもができたとき(妊娠)に関心が高まるので、その時点で情報提供できるようにする。(2件)	香取、ミニTM(衛生短期大学)							1	
2	・乳児や幼児を育てている若いお母さん達に栄養学と共に大切な子どもたちの心理を学べる場をたくさん作って欲しい。室田先生のような専門家の方にお話いただく場を作って欲しい。	夷隅					1		1	
3	・妊娠から出産までは健康や食事への意識が高いが、その後離乳段階くらいまでくると意識が低くなる。売っている離乳食を与えることから噛むことが苦手な子が増えてきている。(1-7にも掲載)	千葉		1						
4	・食育に関するイベントに若い母親の参加が少ないという意見が多いので、若い母親が集まる場所(産婦人科や行政のマタニティ教室)で参加を呼びかけたりするのはどうか。	夷隅							1	
5	・母親学級について、時代の変化に伴う家族像の変化から、これまでの取り組みだけではなく形態を変えるなど検討しているところである。	印旛						1	1	
6	・小さい頃からの食育も大切だが、育児中の両親に対して食事の大切さを知ってもらうことも必要。	夷隅							1	
7	・乳幼児を育てている母親は食育に関して関心が高いと思う。	夷隅	1							
8	・妊婦への取り組みや育児健診などに食育を取り入れるのはどうか。	香取							1	
9	・幼児教室を楽しくやって欲しい。	香取						1		
(6) 栄養教諭を中核とした取組(1件)										
1	・栄養教諭は、従来の栄養士の仕事に加え、栄養教諭としての仕事が増えるので人のフォローが必要。非常勤であっても人が欲しい。体制づくりが必要。(2-2にも掲載)	ミニTM(シンポ実委)						1	1	

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案	提 案	活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
(7) 青少年及びその保護者に対する食育推進(73件)									
1	・これから子供を生み育てる若い人たち(20代)、若い母親、妊婦さんへの料理指導や関心を持ってもらえるような取り組みが必要。(13件)	東葛飾、香取、海匠、長生、安房、ミニTM(食改)、松戸国際高校					1	1	
2	・若い世代の親に食や食育の大切さを知ってもらうことが重要だと思うので、簡単に取り組めるような簡単料理のアイデア提供や親を対象としたアウトドアクッキングや工場見学などを企画してはどうか。(6件)	東葛飾、海匠、安房、ミニTM(食改)				1		1	
3	・授業参観後などの家庭教育学級(保護者が集まる場)で、食の基本やマナーなどについて話す機会を設ける。(5件)	ミニTM(食改)、安房						1	
4	・保護者、PTAへ学校から「食」に関する資料の提供や食講座の開催をする。(2-1にも掲載)(5件)	君津、松戸国際高校、FAX						1	
5	・妊婦への取り組みは効果的。保育士と共同した取り組みがより良い。(2-6にも掲載)(4件)	千葉、ミニTM(保育園)						1	
6	・子どもとその親と一緒に参加できる親子料理教室のような企画をつくり地区に働きかける。(3件)	安房、ミニTM(食改)						1	
7	・親子の絆が希薄になってきているので、親と子供の交流を多く持つようにし、深める活動をしていくようにする。(3件)	香取、ミニTM(食改)、松戸国際高校					1	1	
8	・家庭での食育を実践するため、お母さん方に調理法や箸の使い方など情報交換の場を設定してあげる必要がある。(3件)	香取、海匠、松戸国際高校						1	
9	・子ども達ではなく保護者へのPRが必要。(3件)	千葉、香取、ミニTM(食改)						1	
10	・子どもの年齢に合わせた指導(幼児には食の大切さ、中学生にはお弁当づくりなど)を紙芝居やパネルシアターなどで保護者とともに教える。(2件)	ミニTM(食改)						1	
11	・子どもの頃からの食の大切さを伝えたいが、母親に関心を持ってもらうのが難しい。特に共働き、父子・母子家庭の方から協力を仰げない。(2件)	ミニTM(食改)、東葛飾			1				
12	・いまの親はあまり食事をつくらず、園児の中にも朝食抜きが見られる。保護者への取り組みを考えて欲しい。(2件)	香取			1	1			
13	・食育の取り組みには、父兄の協力が必要なので呼びかけを行って欲しい。(2件)	ミニTM(食改)				1	1		
14	・若いお父さん、お母さんの意識改革が必要。意識が変われば学校や地域での活動にも協力的になると思う。	香取				1	1		
15	・母親が食の重要性を認識していない。家庭教育学級だけでは参加者が少なく、また、家庭教育学級で実施しても参加者が少ない状況なので、教育の中に組み込んでもらえたらと思う。(2-3にも掲載)	海匠						1	
16	・学校だけでは食育は成り立たない。親の世代への啓発の必要性を感じる。食べる楽しさから作る楽しさへ、子供達にできるだけ早い時期から「食を作る側」を体験させることが大切。(2-1にも掲載)	海匠			1			1	
17	・畑から採ってきたままの姿の農産物が手に入れば、各家庭で多少なりとも食育ができるのではないかと思う。しかし、実際は親がめんどろでやらない可能性の方が高いと思う。(5-5にも掲載)	東葛飾			1				1
18	・妊娠から出産までは健康や食事への意識が高いが、その後離乳段階くらいまでくると意識が低くなる。売っている離乳食を与えることから噛むことが苦手な子が増えてきている。(1-5にも掲載)	千葉			1				
19	・体内時計を狂わすことなく、体を正常な状態に保って生活できるような食事を心がける。そのためには、お母さんへの指導が必要。(1-2にも掲載)	郵送			1			1	
20	・保護者に対し、掲示物や食事展示のほかに相談を受け付けている。母親教室では子供達が食べられる給食について指導している。(2-6にも掲載)	ミニTM(保育園)							1
21	・保護者への食育について、掲示物は出すもののどのようにしたらよいか知恵が欲しい。	ミニTM(保育園)				1			
22	・関心がない親子に対しても平等に機会を与える必要があり、保育園、学校等における役割が重要。(2-7にも掲載)	ミニTM(保育園)					1		
23	・お母さんや給食センターなど料理をつくる人が栄養を考えて料理をつくるようにする。(2-4にも掲載)	松戸国際高校						1	
24	・1,2歳の子を持つママに参加してもらい、お茶やお菓子を食べながら食に関する話をする取り組みをしている。	ミニTM(食改)							1
25	・地域の幼稚園に保護者が集まる機会(家庭教育学級など)に食に関する取り組みを行いたい旨説明したところ、活動できるようになった。	ミニTM(食改)							1
26	・働き盛りの男性の朝食欠食率が高い。母親へは1歳児健診の際などに呼びかけているところである。	千葉		1					1
27	・小さい時に味の濃いものに慣れてしまうと大人になってからもその嗜好が強くなるので、親は小さい時の食事を気をつける。	松戸国際高校			1				1
28	・孤食によりコミュニケーション能力が低下している。親にしっかりして欲しい。	松戸国際高校			1	1			
29	・親は子供に栄養のあるものを食べさせ、しっかり栄養管理するべき。	松戸国際高校							1
30	・親は子供に家庭の味を忘れさせないためにちゃんと料理を教える。	松戸国際高校							1
31	・母親が料理をつくるようにルールをつくる。	松戸国際高校							1
32	・今日の講演(安房:安部司氏 食品添加物の話など)を保護者に聞いてもらいたい。	安房					1		
33	・親が無関心すぎる。親子のふれあいの場を持つ機会が欲しい。	安房		1		1			

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	

(8) その他(6件)

1	・最近の子供は食欲がない。食い意地がない。好きなものを買っていいとお小遣いを渡して買ってきても食べない。無理やり食べさせてもいけないし、育てにくい時代だと思う。	ミニTM(保護者)	1						
2	・若いお母さんは働いていることが多いので、職場で昼休み等に食育について機会が持てるように企業に協力して欲しいと思う。(3-1にも掲載)	FAX			1			1	
3	・離乳食教室はあちこちで開催されているが、介護食はなかなか勉強する機会がないので気軽に教えていただける場があったらと思う。	海匠				1		1	
4	・栄養士の先生方や地域の方々が考えて下さっている以上に母親である私たちがもっと真剣に食育について考えないといけないと思った。	東葛飾	1						1
5	・小さい頃から食べ物に対して執着がない。その割りにおなかがすいたというが、ご飯を食べるわけでもない。家族が食卓を囲むということがいいのだろうか。	ミニTM(保護者)	1						
6	・外食、中食の利用が多いのは、おいしいと感じる人が多いからではないか。	松戸国際高校	1	1					

2 学校、保育所等における食生活の改善のための取組の推進(230件)

(1) 現状と今後の方向性(35件)

1	・保護者、PTAへ学校から「食」に関する資料の提供や食講座の開催をする。(1-7にも掲載)(5件)	君津、松戸国際高校、ミニTM(保育園)、FAX							1
2	・学校だけでは食育は成り立たない。親の世代への啓発の必要性を感じる。食べる楽しさから作る楽しさへ、子供達にできるだけ早い時期から「食を作る側」を体験させることが大切。(1-7にも掲載)	海匠		1					1
3	・食育の取り組みを学校でする際には、学校側に押し付けるのではなく、行政や地域が連携して円滑な活動ができるような体制づくりが必要。(4-4にも掲載)	海匠		1			1		
4	・野菜嫌いな子ども自分で種子をまいて育てたものは食べた。学校も取り組んでいることとは思いますが、いま小学校もやるのがたくさんありすぎるように思う。	海匠		1					
5	・子供から大人へ。子供から伝えることで大人の意識が変わることが多いので、学校現場への食育はますます重要。(4-1にも掲載)	千葉						1	
6	・子ども達や保護者を対象に活動するには、学校の中で授業や行事として取り組んでもらわないと効果が得られにくい。	ミニTM(食改)			1				
7	・テーブルマナーについてのプリントを学校で配布し、生徒の親にも見てもらい感想を書いてもらう。	松戸国際高校							1
8	・親子料理教室等の活動が一部の学校にとどまらず、全部の学校で実施できたらよい。	ミニTM(シンポ実委)							1
9	・昼食を家でとり再登校するという国があると聞いた。同じようなことを日本でできないか。	松戸国際高校							1
10	・学校で朝食を食べてきたかをチェックするようにする。食べてこなかったら親が注意される。	松戸国際高校							1
11	・年3,4回、小中高にて保護者参加で食の大切さについての集会を開く。	松戸国際高校							1
12	・子どもたちに卒業までに料理ができるようにという取り組みを続けていく。	ミニTM(シンポ実委)						1	1
13	・学校関係者以外が学校での活動がしやすいような仕組みづくりをして欲しい。	ミニTM(アグリ)					1		1
14	・高齢者が学校で食農教育などで活動できる場を作って欲しい。(5-3にも掲載)	夷隅					1		1
15	・各小学校の保護者PTA活動において食育推進委員会を設置する。	FAX							1
16	・教育現場における食育に対する認識を深めてもらいたい。	ミニTM(食改)					1		
17	・子供達に食育の取り組みをする際には、感動を伝えていければと思う。	東葛飾						1	
18	・子供を通じて、家庭や学校へ発信することが学校の役割だと考える。	海匠						1	
19	・学校で朝ごはんをたべてきたかどうかをチェックする。	松戸国際高校							1
20	・学校がしっかり指導にあたる。	松戸国際高校							1
21	・学校を9時から17時までにする。	松戸国際高校							1
22	・学校は、予定がたくさんあり急に活動することは無理なので、校長先生や教育長等が予定を決める際に参加している父兄にこうした食育フォーラムに出席してもらえたらと思う。	山武		1					1
23	・親子料理教室を開いているが親の参加が少ない。食育活動をしている人たちに学校にのりこんでもらいたい。	山武		1					1
24	・学校での取り組みを通して、子ども達の「食」の現状がひどいと感じた。	印旛	1	1					1
25	・これまで農業体験などを学校で実施してきたが、その取り組みを「食育活動」として他の先生方などにたくさんアピールしてこなかったことを残念に思った。	印旛	1						1
26	・「食」に関する関心が低い方達への呼びかけとして、講演会のタイトルに「頭が良くなる」、「学力があがる」などをつけると出席率が良くなる。	印旛							1
27	・学校が食育に力を入れて取り組み、家庭に発信できれば良いのと思う。	印旛							1
28	・学校にすべておまかせするのではなく、家庭も連携して取り組んでいくことが大切。	印旛						1	
29	・栄養士の先生との交流は、小学校の先生方の中で専門的分野の先生なので、食育意識を高めるにあたってよかったと思う。	印旛							1
30	・学校で子ども達の生活習慣の実態調査を行ったところ、夜遅くまで起きている子供が多かった。また、給食だけがしっかりした食事という子供もいた。	香取	1						1
31	・市内の小学校に米づくり体験の話を持ちかけたが、時間がないと断られた。	香取	1						1

(2) 指導体制の充実(17件)

1	・学校に栄養教諭を配置して取り組む。(4件)	市町村、君津							1
2	・栄養教諭の配置が進んでいるが、給食献立メニューから仕入れなどの給食の仕事に加えて、食育への対応、チームティーチング方式でない教壇にはたてない、校長先生や教職員の理解が不可欠など課題が多い。	千葉			1				
3	・栄養教諭は、従来の栄養士の仕事に加え、栄養教諭としての仕事が増えるので人のフォローが必要。非常勤であっても人が欲しい。体制づくりが必要。(1-6にも掲載)	ミニTM(シンポ実委)					1		1
4	・栄養教諭に食育の指導にあたってもらい、子供たちにはその場で実践させるようにする	松戸国際高校							1
5	・効果的な食育の取り組みをするために全小中学校に栄養教諭を配置する。	市町村							1
6	・栄養教諭は栄養とテーブルマナーの指導にあたる。	松戸国際高校							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
7	・修学旅行の日程に「食体験」を取り入れるようにする。	君津						1	
8	・幼稚園、小学校からの教育が大切なので、学校側の理解を得られるように研修会を実施する。	君津						1	
9	・学校で食育に関する時間がとれないのであれば、土曜日を学校にしてはどうか。	君津						1	
10	・県内にみんなが憧れるような水産大学を設立して欲しい。	夷隅				1		1	
11	・学校の調理実習に地域の人達に来てもらい指導してもらうようにする	松戸国際高校						1	
12	・学校で農産物をつくる授業を行う(5-3にも掲載)	松戸国際高校						1	
13	・朝食がとれるように登校時間を遅くする。	松戸国際高校						1	
14	・意欲的で熱心な栄養士の採用をして欲しい。子供も大人の熱心なところは理解し、食に対して積極的になると思う。	印旛				1			

(3) 子どもへの指導内容の充実(55件)

1	・子供達に食事が体に及ぼす影響や朝食を摂らないとどうなるかなどを分かりやすく教える食育授業を教育課程に盛り込む。(16件)	市町村、東葛飾、印旛、香取、海匝、安房、ミニTM(シンボ実委)、松戸国際高校、							1
2	・幼稚園や小学校から、食べ物はどうのように作られるかを学ぶ教育を取り入れてみてはどうか。(2件)	印旛、安房							1
3	・家庭科の授業で調理実習、時間数を増やす。(2件)	海匝、松戸国際高校							1
4	・「健康」、「食」、「農業」のことを教育課程に取り入れてもらいたい。そうすれば家庭の取り組み方が変わるのではないか。	東葛飾							1
5	・小学校に食に関する授業を取り入れてもらい、地域のお医者さんや専門家に指導をしてもらう。	ミニTM(食改)				1			1
6	・まずは家庭から取り組むべきことだが、小学校1年生から食に関する基本的なことを学校で学んでもらいたい。	ミニTM(食改)				1			1
7	・小さい頃、学校でも情報提供してくれていたのと思うが、あまり記憶に残っていない。しっかり身につくように時間をとって取り組んでもらいたい。紙だけの情報ではだめ。	ミニTM(衛生短期大学)			1				1
8	・楽しいはずの食事がマイナスイメージになったり、登校拒否の一因になったりする場合もあるので、無理強いほしないで欲しい。	夷隅				1			
9	・学校も忙しいと思うが、学校で料理を作る機会を年に何回かでも設けてもらえればと思う。	ミニTM(食改)				1			1
10	・食育を指導要領に盛り込んで欲しい。	ミニTM(アグリ)							1
11	・これまで食を軽んじてきたことが、今日の食の乱れにつながっている。家庭に食育を求めるのは困難。子供を中心に食育の推進を行い、次世代につなげていくしかない。土曜日や夏休みなどを使って調理や食材づくりに取り組んではいかかか。	東葛飾							1
12	・食の安全について、中学生できちんと判断できる力をつけて欲しいと思う。添加物や農薬、遺伝子組み換えなどにどのくらいリスクがあるのか、科学的に学ぶべきだと思う。	東葛飾							1
13	・今は授業時間が足りないと言われていますが、各学校で野田市立二ツ塚小学校のような取り組みをすることが可能か検討して欲しい。(東葛飾タウンミーティング事例発表)	東葛飾				1			1
14	・学校で体育の授業と同じくらい、調理の授業(太巻き寿司など特別なものではなく)を入れて欲しい。	海匝				1			1
15	・母親が食の重要性を認識していない。家庭教育学級だけでは参加者が少なく、また、家庭教育学級で実施しても参加者が少ない状況なので、教育の中に組み込んでもらえたらと思う。(1-7にも掲載)	海匝		1					1
16	・学校で農業体験をして農業の楽しさや大切さを学び、農業衰退を防ぐ。(5-3にも掲載)	松戸国際高校							1
17	・子どもたちに野菜を作っている人達の話をお聞かせ。	夷隅							1
18	・幼稚園、保育園、小学校低学年等で食育カルタでの遊びを推進する。	市町村							1
19	・子どもたちの栽培した野菜を使った料理教室または献立づくりをする。	夷隅							1
20	・学校で家庭科は軽視されているように感じる。もっと重要性を認識して欲しい。	ミニTM(食改)		1		1			
21	・幼稚園、小中高で食のマナー、栄養、調理について学ぶ。	松戸国際高校							1
22	・小学校の総合の時間に「食」に関する学習(実習も含めた料理、食文化伝統、食育、ダイエットなど)をする。	松戸国際高校							1
23	・小中学校では家庭科の他にいろんな県の伝統料理を作ったり調べたりする料理科をつくる。高校、大学では必須科目にする。	松戸国際高校							1
24	・学校で伝統料理を学び、みんなが作れるようにする(6-1にも掲載)。	松戸国際高校							1
25	・学校で食事マナーも学ぶ。	松戸国際高校							1
26	・栄養についての教育の比重を増やす。	松戸国際高校							1
27	・大学で料理教室を開く。	松戸国際高校							1
28	・学校単位でみんなで一緒に朝ごはん習慣に取り組む。	松戸国際高校							1
29	・学校や職場で年1,2回宿して食を学ぶ。	松戸国際高校							1
30	・好き嫌いをつくらないため、小さい頃から料理や食の体験学習を多くする。	松戸国際高校							1
31	・中学高校で正しいダイエットの方法を教える。	松戸国際高校							1
32	・学校で食に関する学習をするときは、もっと興味をもてるような内容にしてもらいたい。	松戸国際高校				1			1
33	・親と一緒にご飯をつくるという宿題をだす。	松戸国際高校							1
34	・高校1年の家庭科は全て料理について学ぶようにする。	松戸国際高校							1
35	・栄養教諭が小中学生に食のマナーや朝食の大切さなどを教える。	松戸国際高校							1
36	・「日本文化」という教科をつくる。	松戸国際高校							1
37	・調理実習で郷土料理や伝統料理をつくる。	松戸国際高校							1
38	・小さな子どもの頃から添加物の恐さを教えるような授業をして欲しい。	安房							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例	
							方 向 性	具 体 例		
(4) 学校給食の充実(70件)										
1	・地元産野菜を取り入れた学校給食は、学校と地域と家庭を連携させることになると思う。学校給食への使用促進を推進して欲しい。(5-5にも掲載)(6件)	香取、長生、君津					1	1		
2	・校内放送を活用したり、話しかけたりして、給食メニューの栄養バランスや「食」に関する情報提供をする取り組みを行うようにする。(5件)	君津、ミニTM(食改)、松戸国際高校					1	1		
3	・私の住んでる市町村では、経費削減のために給食がカレーや焼きそばなどの一皿ものになるという話があります。PTAではこの提案に反対し、アンケート調査をし、教育委員会に提出した。これからも食育の大切さを訴え反対運動を教育委員会、給食センターの方々とともに行っていきたい。(3件)	印旛	1							
4	・子供達が関心をもつように、さんちの献立、君ちの献立などを取り入れる。あるいは、弥生人の食事、縄文人の食事、終戦時の食事など、食を通して歴史に興味を持つような取り組みをする。(2件)	東葛飾、松戸国際高校							1	
5	・給食時間を活用して、子どもたちに食育を働きかけるとすると今のままでは時間が短いと思われるので長くした方がよい。(2件)	ミニTM(シンポ実委)、(食改)					1	1		
6	・日本で古くから実践されている日本型食生活の推進、自給率向上のため、完全米飯給食にする。(2件)	東葛飾、FAX								1
7	・野菜の旬が分かるように、四季折々の旬の食材を給食に取り入れる。(2件)	東葛飾、印旛								1
8	・給食センター中心での運営なので、せっかくの活用が子供達に伝わらないところが多い。かけはしとなる学校栄養職員がフットワークよく学校に行けるようにしてもいいのではないか。市の配慮がなく学校の協力願いに対応しきれない。	ミニTM(学校栄養士会)		1						1
9	・農家との交流を通して、地域の農産物に関心を持たせる。給食にも地元の野菜を取り入れ、アピールし、関心を高める。(5-5にも掲載)	ミニTM(学校栄養士会)								1
10	・地産地消推進のために、学校給食への地元産野菜の直接納品を増やすよう努力している。(5-5にも掲載)	ミニTM(学校栄養士会)								1
11	・地場産物の活用を心がけているが、給食センターだけでの納入ルートの開拓は非常に難しく、県市町村の協力が不可欠だと思う。県のほうから市町村に協力依頼をすれば体制が整えられるのではないか。	ミニTM(学校栄養士会)		1		1				
12	・給食センター方式で複数学校を受け持っている、学校により取り組みの差が出る。せっかく地産地消の献立を出していても伝わりづらい。	ミニTM(学校栄養士会)		1						
13	・退職者による学校給食への野菜供給と食育講師。高齢者の生きがいと学校や地域の連携を深めることにつながっている。	市町村							1	1
14	・給食センターに野菜を納入している直売所。気候状況などで良質のものがとれないこともあるので、年間を通してもう少しランクを落とした商品の納入を検討していただけたら有難い。	夷隅	1	1						
15	・学校栄養士を増員して、子どもの頃からうす味になれるよう学校給食の味について再度見直して欲しい。	夷隅					1			
16	・栄養士さんの献立は、カロリー計算等が優先されあまり美味しいものではない。食材を活かした味の工夫をして欲しい。	東葛飾					1			
17	・学校給食を完全米飯給食にして欲しい。成長期の食事が生涯の健康と味覚を決定するため、日本型食生活を身につけるには学校給食に期待するしかない。現在、学校数は減少していますが、米飯給食をとりいれている学校は増えてきています。千葉県でも是非取り組んでほしい。	東葛飾					1		1	
18	・行政に学校給食への地産地消推進のしくみづくりにもっと取り組んでもらいたい。(5-5にも掲載)	海匠					1	1		
19	・学校給食に地元の食材をたくさん使えるように予算や給食費を検討して欲しい。(5-5にも掲載)	海匠					1	1		
20	・学校給食に地元の食材をできるようにJA、行政、学校の連携を図って欲しい。(5-5にも掲載)	海匠					1	1		
21	・給食センターを活用した地産地消に取り組んでどうか。行政、生産者(JA、生産組織)、利用者(給食センター)の連携が必要。(5-5にも掲載)	海匠								1
22	・給食を残す生徒が多いと聞くので、食べ物の大切さについて教育の場で扱って欲しい。	海匠					1	1		
23	・センター式の給食よりも自校式のほうが美味しいし、メニューも増えるのではないかと。また、地場産物の使用をしたいが、予算の都合から難しい。(5-5にも掲載)	海匠					1	1		
24	・給食センターでもきちんと旬のものを提供して欲しい。どうしても冷凍食品等を使用する場合は冷凍食品の加工段階で旬のものを使用するようにしたらよいのではないかと。	ミニTM(保護者)					1			
25	・給食がセンター方式の学校は、センターを見学させる。	君津								1
26	・給食時間に啓発活動をさせていただけたらと思う。	ミニTM(食改)					1			
27	・学校給食に安全な農産物を提供していただきたい。	千葉					1			
28	・保育園から大学までの給食、学食などで洋風化にならないよう呼びかけたりしてお米の消費を増やす(5-5にも掲載)	松戸国際高校								1
29	・学校給食から洋風化したメニューを無くすことで脂肪過多や栄養バランスの偏りをなくす。	松戸国際高校								1
30	・お母さんや給食センターなど料理をつくる人が栄養を考えてつくるようにする。(1-7にも掲載)	松戸国際高校								1
31	・学校で朝食の時間を設ける(給食、無料支給、朝食を食べられる部屋を設ける)。	松戸国際高校								1
32	・高校も給食にする(注文制でもよい)。	松戸国際高校								1
33	・購買で朝食を買えるようにする。	松戸国際高校								1
34	・幼稚園や小学校の給食で固いものをだす あご強化。	松戸国際高校								1
35	・定期的に生徒が給食や献立作りをする。	松戸国際高校		1						
36	・学校で朝食を出してもらおうのも良いと思うが、親の育児放棄にならないか。	松戸国際高校								1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案	提 案	活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
37	・小学校(保育園からでも)から大学まで給食にする。	松戸国際高校						1	
38	・学校農園をつくり、農産物を栽培し、給食に使用する。(5-3にも掲載)	松戸国際高校						1	
39	・学校にパン等の軽食を扱った自動販売機を設置する。	松戸国際高校						1	
40	・購買で栄養のあるもの(惣菜)を販売するようにする。	松戸国際高校						1	
41	・義務教育中は学校給食で栄養士が献立をつくる。	松戸国際高校						1	
42	・学校給食にお金を掛け、おいしい食事の提供をすれば好き嫌いがなくなる。	松戸国際高校						1	
43	・教育機関と農家が連携し、学校給食を有機食材で作るようにする。	松戸国際高校						1	
44	・給食を残させないようにする。	松戸国際高校						1	
45	・いまの子供は夕食をとるのが遅いので、15時のおやつタイムを設ける。	松戸国際高校						1	
46	・朝食を抜いてきた子供には10時におやつタイムを設ける。	松戸国際高校						1	
47	・高校に学食をつくる。	松戸国際高校						1	
48	・給食のカロリーを表示する。	松戸国際高校						1	
49	・学校給食の廃止又は選択性の導入をして欲しい。その理由として、食費不払い者の増加、安全安心なものを食べさせたい親のニーズがある、給食の材料が不明な点がある、アレルギー者に対応できる、親と共に食を考えることができる	山武	1			1		1	
50	・給食の予算が少ないため、栄養士さんが子ども達にと考えた献立も思うようにできない場合があると聞いた。	山武	1	1					
51	・給食に使用する水産加工物の工場見学を行っている。見学した日のその食材の残渣は少ないが、他の日だと増えてしまう。	山武		1					1
52	・娘に「私は給食で育った」と言われた。仕事にかまけて料理をおろそかにしていたことを反省している。	香取							1
53	・学校給食が自校式になれば、子ども達も給食や「食」に対して興味を持ちやすいと思うし、給食と連動した食育の取り組みもできやすいと思う。	香取				1		1	
54	・学校給食は市町村単位で様々な形態をしていると思うので、市町村の農協、農業者、学校など関係者が一緒に集まって検討することが必要と思う。	香取					1		
55	・栄養士さんと連携をとって給食指導をしていきたい。	香取						1	1
(6) 保育所での食育推進(24件)									
1	・2歳半の孫がそれまで楽しく通っていた幼稚園に昼食の時フォークを取り上げられたことから行かなくなってしまった。若い人に室田先生の話の聞かせたい。	夷隅							1
2	・紙芝居での活動は分かりやすく良いと思うので、保育園や学校等で広めていくようにしてはどうか。	夷隅						1	
3	若いお母さんの参加が少ない。学校や保育園などと連携をとり活動していくことが必要。(1-7にも掲載)	夷隅		1			1		
4	・子ども達に野菜が育ち、製品になる過程を知ってもらうため、紙芝居にして伝えてはどうか。	FAX						1	
5	・年間計画に食育を盛り込んで実施。3歳以上児を対象。保護者にはおたよりを出している。	ミニTM(保育園)							1
6	・保護者に対し、掲示物や食事展示のほかに相談を受け付けている。母親教室では子供達が食べられる給食について指導している。(1-7にも掲載)	ミニTM(保育園)							1
7	・保育園の中では食育=栄養士という感覚。保育士サイドに伝わりにくい部分がある。食育は専門職のみでなく園全体で取り組むことが大事。	ミニTM(保育園)			1		1		
8	・保育所や学校では、食育についてよくやってくれている。小さいうちにインプットされたものは残ると思う。	ミニTM(保護者)							1
9	・子供が保育所や学校で栄養素について教わってきている。家の食事を見て緑がないねと言われた。	ミニTM(保護者)	1						1
10	・妊婦への取り組みは効果的。保育士と共同した取り組みがより良い。(1-7にも掲載)	千葉					1		
11	・小学校での食育活動は数多く聞か、保育所や幼児を対象にした食育のアイデアが欲しい。	海匠					1		
12	・幼児期にみんなで楽しく食事をする体験をする。	市町村						1	
13	・幼稚園、保育園から食べ方や「食」に関して勉強(指導)したり、親子で食事マナーの大切さを学ぶ機会を設けたりする。	松戸国際高校						1	
14	・幼稚園や学校などで栄養バランスについて話し合ったり先生が教えたりする。	松戸国際高校						1	
15	・保育所で朝食をとるようにして習慣化させる。	松戸国際高校						1	
16	・味の表現の語彙が少ないので教えていく必要がある。	ミニTM(保育園)						1	
17	・給食に関する年間計画はあるが食育としてのものはない。	ミニTM(保育園)							1
18	・ある保育所では、食育に関する年間計画を立て、月別目標を定めて取り組んでいる。	ミニTM(保育園)							1
19	・保育園は食育推進の地域拠点となっていく必要がある。	ミニTM(保育園)					1	1	
20	・年齢に応じた食べさせ方や広範囲にわたるものは保育との関連でしかできない。	ミニTM(保育園)						1	
21	・食育を園児に説明して理解可能な年齢は5歳くらい。	ミニTM(保育園)	1						
22	・幼稚園ではあまり食育の機会がないので、もっと色々教えて欲しい。	海匠					1		
23	・コンビニ弁当や出来合いのものを詰めたお弁当を持ってくる幼稚園児が多いと聞いた。	山武	1						
24	・幼児への歯科指導のメルクマールがないのが現状。日本歯科医師会で保育所や幼稚園向けのマニュアルづくりを進めている。千葉県歯科医師会は、国に先駆け取り組んでいるところであり、幼児の食べ方の基礎調査(実態調査)を実施する予定。	ミニTM(歯科)						1	

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案	提 案	活 動 事 例	
							方 向 性	具 体 例		
(7) その他(29件)										
1	・農業高校で体験学習をするのはどうですか？(なし・さつまいも・梅・米・ブルーベリー・栗・トマトを栽培しています)	ミニTM(学校栄養士会)							1	
2	小学校での実践事例です。 ・県の魚の推進計画が行われた時に年に3回“アジ”と“サンマ”と“丸干しイワシ”を児童の半数分無料で給食でいただく事がありました。せっかくの機会なので、その3種類の魚を使った新メニューを給食委員会の子供達が考え、当日はメニューを考えた理由や苦労話等を校内放送で流しました。そして、ただ食べるだけではなく、魚に関するクイズを出そう！とクイズも子供達が考え、放送で流し、放送室の前に牛乳パックで作ったケースにクラスと名前を牛乳のふたに書いてもらって正解だと思うケースに入れてもらいました。子	ミニTM(学校栄養士会)								1
3	・給食時間、学級に栄養士が訪問し、食べ物などについて話しをしている。 ・保護者が、学校内で給食試食会を行い、必要に応じて栄養士を派遣している。 ・野菜等を育てる生活科などで、授業に栄養士が参加することがある。	ミニTM(学校栄養士会)								1
4	・家庭教育学級講師や給食試食会の訪問によって、保護者への啓発活動を行っている。 ・栄養士は、給食訪問により食に関する情報の発信をし、調理員は、給食づくりの大変さや楽しさ等を伝えている。また、総合の時間に野菜を育て、食べ物が自分の口に入るまで様々な苦労があることを学ばせている。(感謝の心を育てる) ・職場体験学習の受け入れ、センター見学を受け入れを行っている。	ミニTM(学校栄養士会)								1
5	・献立表にひとくちメモを掲載している。 ・給食時間に栄養士がクラス訪問し、給食やマナー等に関して話をしている。 ・学校に「食育ポスト」を設置し、子供達の疑問や給食へのリクエスト等を等受け付けて、栄養士が返事を掲示する。センター方式でも子供達との直接交流となる。	ミニTM(学校栄養士会)								1
6	・関心が薄い高校生から20代前半への取り組みが必要。	長生						1		
7	・高齢者と小学校5,6年生とで、「本物の味(化学調味料ではない味)」についての会を持つ。	君津								1
8	・体験が何より大事なことと思うので、学校も地域の人達との交わりを進めていただきたい。	夷隅						1		
9	・学校で太巻きずし作りを教えていたが校長先生が変わったからか、この所やっていない。	夷隅								1
10	・子どもたちに「飢餓体験」をさせる。夏休みなどの校内一泊キャンプなどと兼ねて実施できると思う。世界中で、年間およそ1千万人の飢餓に関連した死者と8億人を超える栄養不足に悩む人々がいるという現実を体感できるような体験をさせる。	メール								1
11	・子どもたちに「自給自足体験」をさせる。費用や場所などの問題があるが、過疎地の遊休農地の活用、定年退職者の協力を得るなどすれば実現可能と考える。カロリーベースで40%の自給率しかない日本で、これほどの飽食に浸っている矛盾を認識し、食料問題がお金だけでは解決できないものであることを学び必要がある。そのため、自分で生産し、それを食すという体験は欠かせません。	メール								1
12	・小中学生は給食や行政側の取り組みなどがされているが、近い将来に父親や母親になる高校生について、受験勉強や予備校などがあり家庭での食事をしていないと思うので、食生活の注意点などを教える機会があればと思う。	FAX		1				1		
13	・学校はもう少し門戸を開いて欲しい。	ミニTM(食改)						1		
14	・小、中学校で活動できるようにして欲しい。	ミニTM(食改)						1		
15	・学校(教育委員会)にもっと参加してもらいたい。	ミニTM(食改)						1		
16	・教育委員会が率先して食育に取り組んでもらいたい。	ミニTM(食改)						1		
17	・料理を作る楽しさを成長期の子どもに感じてもらうことが大切と考える。そのためにも学校の調理室を地域に開放してはいかがか。	東葛飾						1		1
18	・関心がない親子に対しても平等に機会を与える必要があり、保育園、学校等における役割が重要。(1-7にも掲載)	ミニTM(保育園)							1	
19	・給食は、食事バランスを考えて提供されていること、温かい食事であること、食中毒の心配もないことから中学校でも提供して欲しい。	ミニTM(保護者)						1		
20	・骨粗鬆症について学んでみて、食生活のバランスを考えて食事をしようと思った。	公立中学校								1
21	・学校側から活動を希望される声が多かったが、栄養士は教壇に立てないので担任の先生が要となる。	千葉	1							1
22	・ちば食育ボランティアを学校に入れるようにして欲しい。	千葉						1		
23	・時間内に給食を食べられず、先生に指導され登校拒否になるという話を聞いた。今いじめなどで大変だと思うが、食育について子供たちから問いかけなどはあるか？またその対応はどうしているのか？	海匠		1						
24	・食育は大切。いまの子供は水を飲まないの学校で子供たちに水を飲むことを教えて欲しい。	海匠						1		
25	・学校の行事に地域の人達で集まって郷土料理をつくるものを企画する。	松戸国際高校								1
26	・自分達(学生)が習ったことを家族に教え注意する。	松戸国際高校								1
27	・小中学校の早食いをやめさせるために昼休みを長くする	松戸国際高校								1
28	・学校から家に帰るまでお腹が減り、買い食いしてしまうので、寮を増やしたり下校の時間を早める。	松戸国際高校								1
29	・保護者同伴で「朝食の大切さ」を伝えるキャンペーンを実施する。	松戸国際高校								1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案	提 案	活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	

3 地域における食生活の改善のための取組の推進(104件)

(1) 現状と今後の方向性(36件)

1	・子供会や公民館の行事など地域の人たちが集まる場所で親子料理教室や年代の違う人たちが集まるような教室をひらく。(5件)	印旛、夷隅、君津、夷隅、松戸国際高校						1	
2	・地域社会に参加することが大切。地域でのグループ活動の活性化を行う。(4件)	東葛飾、夷隅、君津					1		
3	・公民館など地域の人たちが集まる場所で講演、話をする。(3件)	君津、松戸国際高校						1	
4	・地域ごとに料理を持ち寄り、味の交換会を行う。(3件)	君津						1	
5	・週に一度、地域の人たちで集まり料理や食事をする。(2件)	君津						1	
6	・子安講、さげ重(集会の際の料理の持ち寄り)の復活(6-3にも掲載)	君津						1	
7	・若いお母さんは働いていることが多いので、職場で昼休み等に食育について機会が持てるように企業に協力して欲しいと思う。(1-8にも掲載)	FAX						1	
8	・高齢者単独世帯への食育も必要。一人だと料理に手間を感じやすく、健康的な食生活から遠ざかりやすい。	千葉			1			1	
9	・食生活改善委員等をつくり、各地区にある保健センター等を通じて、調理に携わる人に身近に情報提供をする場を作ってもらいたい。	海匝						1	
10	・各年齢に共通する必要な食材とその活用のしかたについて、情報の配信方法や実践講座を検討してはどうか。	海匝						1	
11	・婦人会などの団体事業がなくなってしまい、みんなで作って食べる場というものがほとんどない。今後、友人等と集って太巻き寿司や自分で作った野菜で料理したりしていきたいと思っています。	海匝						1	
12	・親子料理教室は地域で実施されていることと思うが、もっと機会をふやして取り組めばよいのではないか。(1-7にも掲載)	安房						1	
13	・老人クラブ、子ども会活動の際にお弁当やおやつの作り方などを提案する。	安房						1	
14	・夏休み中のファミリー向けの料理イベントは好評だ。	ミニTM(生協)							1
15	・参加意欲をもたせる教室づくりが必要。子どもを預かってあげることも必要。	ミニTM(食改)			1				
16	・若い人は瘦身思考から食事を軽視しがちなので、食事の大切さを伝えていきたい。	ミニTM(食改)		1					
17	・地域の人々を集めて、公民館等で千葉県の伝統料理の教室を開く。(6-1にも掲載)	松戸国際高校						1	
18	・和食、伝統料理のイベントを行う(賞品付きのクイズ大会や和食、伝統料理の販売など)。(6-1にも掲載)	松戸国際高校						1	
19	・農家の人が食材を持ち寄って、栄養士さんや伝統料理を作る人を集めて公民館などで会をひらく。	松戸国際高校						1	
20	・地域の人達がおしゃべりしながら栄養満点なレシピを教えあうなど情報交換する場を設定する。	松戸国際高校						1	
21	・地域と農家が連携しておまつりをする(料理教室、販売会など)。	松戸国際高校						1	
22	・子供のための料理教室を開催する。	松戸国際高校						1	
23	・いまの家庭は核家族が多いので、人生の経験を積んだ地域のお年寄りという人的資源を活用して、「食」や「生活」に関する知識、技術を習得して欲しい。	香取					1		
24	・小さい子の料理文化を地域の人たちが連携し、おやつや味、地域の味を伝えている。	香取						1	

(2) 栄養バランスが優れた「日本型食生活の実践(14件)

1	・カロリー、脂質、砂糖のとりすぎを控えて、ごはんを中心にした日本型食生活を実践するよう広報する。(2件)	FAX、松戸国際高校						1	
2	・若年層の青果物摂取量の拡大を目標とし、野菜や果物を取り入れたバランスの良い食生活の推進をする。	FAX						1	
3	・日本は工業国家と言われますが、命を支えているのは農業。また、健康な土、水、山、緑を残していくにも農業は大切。御飯を中心にした食生活を始めて、一人ひとりが御飯を食べて日本型食生活に取り組みが重要。	FAX					1		
4	・日本型食生活、地産地消を心がけた食事をしている。	君津						1	
5	・宮城県宮崎町のような取り組み(食の文化祭)を行う。	君津						1	
6	・年齢に合わせた健康に配慮した食事づくりの指導に取り組んでいきたい。	ミニTM(食改)						1	
7	・小、中学生に日本型食生活の良さを伝える取り組みをしたい。	ミニTM(食改)						1	
8	・和食のファーストフード(ハンバーガーみたいなもの)を増やす。	松戸国際高校						1	
9	・国産、和食を利用するとポイントがもらえるような制度をつくる。(5-5にも掲載)	松戸国際高校						1	
10	・コンビニ、ファミレスで和食を買うとポイントがもらえるような制度をつくる。(5-5にも掲載)	松戸国際高校						1	
11	・和食のレストランを増やす。	松戸国際高校						1	
12	・ファーストフードに税金をかけて、和食を安くする。	松戸国際高校						1	
13	・全員、和食料理をつくれるようにする。	松戸国際高校						1	

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
(3)「食生活指針」や「食事バランスガイド」の活用促進(12件)									
1	・食事バランスガイド活用した取り組みをする。(3件)	君津、ミニTM(生協)							1
2	・千葉県食事バランスガイドを作成して広く県民にPRしていきたい。	ミニTM(シンポ実委)							1
3	・6つ(3つ)の食品群の表を冷蔵庫に貼るようになる。	君津							1
4	・職場などで主食、主菜、副菜を揃えた食事の啓発をする。	君津							1
5	・おやつの適量や含有成分を知らない人が多いので、目安となるものを具体的に示した冊子があると良いと思う。	東葛飾		1					1
6	・メタボリックシンドローム予防のため、大人の男性(特に会社員)のアルコール適正量を具体的に示した冊子があると良いと思う。	東葛飾							1
7	・食事バランスガイドでは正しい食生活を伝えることが難しい。	東葛飾		1					
8	・バランスガイドは、6歳未満については詳しい説明がされていない。小さい子供達のことを後回しにされている傾向がみられる。	ミニTM(保育園)			1				
9	・学校や地域で、和食を中心とした料理講習をする。	松戸国際高校							1
10	・食事バランスガイドの活用方法をスーパー等に置いて、普及を図る。	山武							1
(4)専門的知識を有する人材の養成・活用(20件)									
1	・学校や地域に食生活改善協議会をPRして欲しい。(3件)	ミニTM(食改)							1
2	・若い人たちの食生活改善推進員などのボランティア活動を増加させて欲しい。(3件)	東葛飾、夷隅、ミニTM(食改)				1			
3	・農村に伝わる食文化を若い人に伝える。地域の「おばあちゃん先生」が食について注意するなどの指導を行う。	君津							1
4	・地域での食育活動をする上で、核となる人物を育成する。	君津						1	
5	・食生活改善推進員の研修内容を改善して欲しい(調理実習がない等)。	夷隅				1			
6	・資格のある人に参加していただいて、協議会が子どもの面倒をみている間に保護者に食に関する話をしてもらいたい。	ミニTM(食改)					1		
7	・会員が高齢化しているので、市町村内各地区に会員がいないこともある。すべての地区に会員がいるように登録の呼びかけを行って欲しい。	ミニTM(食改)					1		
8	・公民館のイベントなど人がたくさん集まる場所で、食育に関する話を栄養士や保健師からしてもらえばよいのではないか。	東葛飾							1
9	・地域のお年寄りに集まってもらうなどして、公民館などで料理教室をひらく。(6-1にも掲載)	松戸国際高校							1
10	・食生活のことをいつでも栄養士に相談できるようにする。	松戸国際高校							1
11	・野菜を食べないのは美味くないと思っている人が多いので美味しい料理法をひら	松戸国際高校							1
12	・料理はやわらかめに作らない。歯医者がよくかむよう指導を行う。	松戸国際高校							1
13	・各飲食店に栄養士をつける。	松戸国際高校							1
14	・栄養士の話を定期的に聞く場を設ける。	松戸国際高校							1
15	・親子で栄養士の話を聞く時間を設ける。	松戸国際高校							1
16	・和食シェフによる親子料理教室を開催する。	松戸国際高校							1
(5)健康づくりや医学教育等における食育推進(9件)									
1	・学校や地域で、食育に関する集まりを設けてはどうか。	君津							1
2	・病気と食べ物の関係性に対する知識の普及をして欲しい。	君津					1		
3	・地域に高齢者が多く、食生活も限られた食べ物が多いようです。栄養事情や健康面などでも高齢者の食生活を考えてくださればと思います。	夷隅					1		
4	・団塊世代の男性に対して、料理の基礎から食事の栄養までを続けた取り組みとして教えたい。	ミニTM(食改)							1
5	・健康づくりのための仕事をしているので、少しでも多くの方に楽しく食べられ、健康でいられるような食育をすすめていきたいと思う。	東葛飾							1
6	・団塊の世代に対する調理実習教室や健康づくり教室(メタボリック予防)にも有意義であると思う。	東葛飾							1
7	・お店や飲食店などで普段自分が買って食べている料理を作る体験ができたらいいなと思う。	東葛飾					1		
8	・外食店で栄養面にも配慮したメニューを考案してもらい、県が認証するようにする。	東葛飾							1
9	・高齢者は食が細いので必要な栄養素が取れず、体調をくずす人もいるので、そこへの対応も考えて欲しい。	安房		1		1			
(6)食品関連事業者等による食育推進(1件)									
1	・一人暮らしの高齢者が多いので、男性も積極的に参加できるような調理実習の計画、呼びかけ等をしてもらいたい。	ミニTM(食改)						1	
(7)その他(12件)									
1	・小学生に料理の基礎(だしのとり方、米のとぎ方など)を教えたい。	ミニTM(食改)							1
2	・日本食(煮物など)の味を覚えてもらうような活動をしていきたい。	ミニTM(食改)							1
3	・介護予防に取り組みたい。	ミニTM(食改)							1
4	・年齢に応じた食育劇(パネルシアター)に取り組みたい。	ミニTM(食改)							1
5	・若者や子どもに対して、食事マナーや食のあり方などを伝える活動をしていきたい。	ミニTM(食改)							1
6	・小、中学生に作って食べる楽しさを味わって欲しい。	ミニTM(食改)							1
7	・老人クラブや地域単位で高齢者への食育を行いたい。	ミニTM(食改)							1
8	・バランスの良い簡単な朝食メニューを提案する。	ミニTM(食改)							1
9	・朝食の大切さの広報をする(脳の働きが良くなるなど)。	ミニTM(食改)							1
10	・地域での健康づくりの活動に料理実習を実施したい。	ミニTM(食改)							1
11	・毎月配られる町の広報に食に関するコーナーを設けてもらいたい。	ミニTM(食改)							1
12	・食生活改善協議会予算を確保して欲しい。	ミニTM(食改)					1		

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	

4 食育推進運動の展開(289件)

(1) 現状と今後の方向性(146件)

1	・立派な文章ではなく、誰にでも具体的に実践できるもので、既に活動している人たち(栄養士や調理師など)の意見を取り入れた計画を策定して欲しい。(9件)	千葉、東葛飾、海匝、夷隅、ミニTM(保育園)					1	1	
2	・家族そろって食事することは大事だと思う。しかし、職場の都合や時間外労働、遠距離通勤などを強いられ現実的には難しい。国民がゆとりある働き方、余裕が生まれるように景気回復をしてから推進していただきたいと思う。(5件)	夷隅、ミニTM(衛生短期大学)、松戸国際高校					1		
3	・地域でシンポジウム等を開催しても参加者が少なかったり、イベント自体を知らなかったりする県民もいることから、しっかりとした広報をし、参加を促すようにして欲しい。また、たくさんの講演会シンポジウム、料理教室を開催してもらいたい。(4件)	海匝、夷隅、安房						1	1
4	・活動するにあたり、若者の参加が少なく、地域の人たちの理解が低いので、行政に理解を広げるような取組をしてもらいたい。(4件)	夷隅、ミニTM(食改)					1		1
5	・本当に支援が必要な人(関心のない人、行動変容のできない人)にどう取り組むかが課題。(4件)	印旛、香取、ミニTM(シンポ実委)			1				
6	・料理講習会などをやるのであれば、ちょっとの工夫で「手早く」、「バランスよく」食べられる料理の紹介、昔からある家庭料理などを教えて欲しい。(3件)	安房、ミニTM(保護者)					1		
7	・食育に関する使いたい情報を安心して使用できるような収集と整理の体制づくりをして欲しい。(3件)	ミニTM(保育園)					1		1
8	・推進計画は、誰にでも分かる書き方や表現にし、実践しやすいものを策定してもらいたい。(3件)	東葛飾					1	1	
9	・物を大切にすることを育成する取組を行う。(3件)	君津							1
10	・千葉県は、全国有数の生産県であり消費県でもあるので、すぐ隣に現場があることを活かした活動に取り組んでいけばいいと思う。(2件)	ミニTM(シンポ実委)							1
11	・食育推進のために使えるツールがあるとよい。カルタやプログラム作りなど媒体の作成、既存の媒体の貸し出しリストを提供することも必要。(2件)	ミニTM(保育園)							1
12	・健康フェアを活用してお菓子に含まれる塩分の展示をするなど、食育に関する広報活動を一層推進する。(2件)	ミニTM(食改)							1
13	・食べ物「おいしい」や「まずい」という表現だけではなく、どのようにおいしいか考えて仲間や家族と話すのも食育。(2件)	山武							1
14	・まだ「食育」はメジャーではないので、地区単位での広報が必要。(2件)	夷隅、ミニTM(食改)						1	
15	・配布物は見やすく分かりやすいものを作成して欲しい。(2件)	海匝、ミニTM(保育園)					1		
16	・食事は心と体に潤いを与えるもの。	長生							1
17	・食事を「心待ち」する機会が薄れた、我慢ができない。	長生	1	1					
18	・男女共同参画して社会全体で食育を考える必要がある。	長生						1	
19	・子どもも大人も知識はあるが毎日の暮らしの中で実践されていない。	ミニTM(シンポ実委)	1	1					
20	・20、30代の方を講習会などの取組みに巻き込みたいが、仕事をもっているなど参加が難しいと思われるのが現状。	ミニTM(シンポ実委)	1						
21	・食と環境をテーマにしたものは感心が高い。	ミニTM(シンポ実委)	1						1
22	・牛乳の生産量が全国有数ということを活かして、学乳事業でカバーできない高校生女子に対して骨粗鬆症予防などの観点から牛乳の飲用を促進する手立てを考えて欲しい。	ミニTM(シンポ実委)					1		1
23	・千葉県産米粉の活用についても考えてみてはどうか。	ミニTM(シンポ実委)							1
24	・県のサポート企業制度を活用させていただいているが、まだ普及しているとは感じないので、少し活動しやすいようにバックアップしてくれたらと思う。	ミニTM(東京電力)					1		
25	・生産を担う農業のことを理解していない人が多い。食育を進める上で大事な項目であるので、理解を深めてもらえるような取組をしていきたい。また、消費側にも分かってもらいたい。	ミニTM(アグリ)						1	
26	・食育の大きなテーマとして農業が中心にあると活動している。	ミニTM(アグリ)							1
27	・食育は自分の問題と認識させる(健康は自己責任)。	君津		1					
28	・食べ物の大切さやバランスのとれた食べ方の指導をして欲しい。	君津					1		
29	・自分のお弁当作りをするよう呼びかける。	君津							1
30	・箸の持ち方検定を行う。	君津							1
31	・食と健康は取り上げることが多いが、食と心をテーマに子育てを食とからめて実施すると若い人も気になるのでは？	夷隅					1	1	
32	・基本計画の定量的目標について、数値設定は実現可能であることやなぜその数値を目標とするのかなど考えてもらいたい。また、目標を設定するために必要な具体的な施策を県が中心となって進めてもらいたい。	夷隅					1	1	
33	・仕事をもっている人でも参加できるようなプログラムを考えてもらいたい。	夷隅					1		1
34	・現在、子育て中のお母さん、お父さんに今日のような食育シンポジウムを開催して欲しい。	東葛飾、夷隅					1		1
35	・若い親に参加いただくよう休日に講習会を開催して欲しい。	夷隅					1		1
36	・給食センターの調理員をしています。残渣が多いので、野菜の美味しさを知ってもらうためにも親子料理教室等をたくさん開催して欲しい。	夷隅					1		1
37	・食育体験メニュー、目標の設定が必要。	夷隅						1	
38	・市の広報紙に食育関連の取組み、募集などを掲載して欲しい。	夷隅					1		
39	・本物の経験をできる場をいかに作るかが重要。参加費は徴収してよい。地域から発信する「食育」を！	夷隅						1	
40	・市原市では、「いーでんでん収穫まつり」というイベントをしている。生産者の安全・安心な農産物のPR、地域伝統の味の紹介、市の企画するサツマイモ収穫体験、消費者団体による各種情報提供などの内容。	メール							1
41	・あらゆる年代が参加して、伝承遊びのように取り組める活動をしていきたい。	ミニTM(食改)							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
42	・食育の範囲が広いので、焦点を絞って(若い世代や保護者など)啓蒙するような行政の呼びかけが欲しい。	ミニTM(食改)				1			
43	・食事の基本的な礼儀を再認識してもらえるような取り組みをする。	ミニTM(食改)						1	
44	・地域のセンターにオープンカフェがあるので、そこで食育の話をするなどしてはどうか。	ミニTM(食改)						1	
45	・小さな頃から、それぞれの年齢に応じた食の大切さ、栄養素の働き等を教えていくことが大事。	東葛飾					1		
46	・家庭や学校だけでなく、職場や塾など一人ひとりの食生活にもっと目を向けて支援して欲しい。	東葛飾				1			
47	・今回のタウンミーティング(東葛飾)は、農林水産部が中心となって開催されていますが、健康な子どもを育てる、明るい家庭を作るという目的のための食育でしょうから、教育サイドが中心となって開催してみたら、また違った開催ができるのではないのでしょうか。	東葛飾					1		
48	・家族で参加できる料理教室を常設したらよいのではないかと。	東葛飾						1	
49	・ターゲットごとに食生活に関する情報の発信方法や内容を検討して欲しい。20代の人が集まる場所で行って欲しい。	東葛飾				1	1		
50	・「食は人を良くする」ということを置き去りにして議論を進めていないか。	東葛飾		1					
51	・食育を取り入れて子育てをしなかった世代のツゲがこの現状かなと思う。	東葛飾	1	1					
52	・推進計画に「早寝・早起き・朝ごはん」の言葉を入れて欲しい。	東葛飾				1	1		
53	・食育推進計画の策定により、問題意識の把握や意識の高まりが図られると思う。	ミニTM(保育園)							1
54	・栄養士、保育士を含めた園の関係者への勉強会や研修会を開催して欲しい。	ミニTM(保育園)				1	1		
55	・地域のボランティアと連携した活動が大事。	ミニTM(保育園)					1		
56	・情報発信する際に地域の食、地場産物を併せて発信すると良い。	ミニTM(保育園)						1	
57	・食生活は義務ではなく、楽しく食べることが大事。	ミニTM(保護者)					1		
58	・なぜ食事が大事なのかを子供に教えてあげたい。ドラマの中(喰いタン、チャングムの誓いなど)にも食をテーマにしているものがあるので活用してはどうか。	ミニTM(保護者)						1	
59	・ビデオ(食育に関するもの)を見たのは家族の中で私だけだし、これを一人だけでなおしていくのではなく、みんなにも色々な事を言って、みんなで食生活をかえていきたい。	公立中学校							1
60	・大人(男性)の食育意識を改善するため、企業とタイアップしたらどうでしょうか。	千葉				1	1		
61	・県内全域に食育推進計画を策定することをもっと広報して知らしめて欲しい。	千葉				1			
62	・消費者がもっと「食」を意識することが大切。無関心だったことが今の状況を生んでいる。	千葉	1	1					
63	・子供から大人へ。子供から伝えることで大人の意識が変わることが多いので、学校現場への食育はますます重要。(2-1にも掲載)	千葉					1		
64	・本人も健康に対してモチベーションが高まる時期の取り組みは効果的(妊娠期など)。	千葉							1
65	・家庭科や給食の時間だけでなく、他の教科の時間にも「食」の取り組みが進んでいけばと思う。学校で「食」の取り組みを進めていくためには関係者の方々の理解が必要。	千葉						1	
66	・県でつくるこの食育推進計画が、実践を伴うものとなるよう必要な予算措置をしてもらいたいと思う。	海匝				1			
67	・食育というのは分野が広すぎるので絞り込まなければ成果がはっきり出ないと思う。	海匝		1					
68	・今回、使用したパワーポイント資料をインターネットで公開すればいろんな人がプレゼンしやすくなると思う。	海匝							1
69	・いきすぎた食品管理がたくさん命を無駄にしている。消費期限や賞味期限のほか、包装のキズやヘコミにまで過剰に反応し大量に廃棄されている。幼い頃から家庭や学校で物を大切にすることを育み、大人も実践していく国にならないと日本はダメになると思う。	海匝	1	1					
70	・机上の話だけではなく、実際につくる体験をすることから始めてもらいたい。	海匝				1	1		
71	・それぞれの立場で何が出来るか、どうしたら良いかを考え、実践していくことが大切。日常生活の中で食育が実践されることを願います。	海匝				1			
72	・それぞれのライフステージに合わせた食事を考えるきっかけをつくってはどうか。	海匝					1		
73	・朝食を食べてこない児童や夕食を飲み屋さんで済ませている児童もいるようです。実態調査をしてみる必要もあると思うが、食事に関しては個人的な問題もあり、踏み込むのが難しい面もある。	海匝				1			
74	・雑誌、TV番組、CMに栄養や料理に関するものを増やす。	松戸国際高校							1
75	・18時から20時は外出禁止の法律をつくる。	松戸国際高校							1
76	・ある特定の商品を買くと、企業が無償で家政婦を貸し出してくれるサービスを始める。	松戸国際高校							1
77	・家族揃って食事できないのは、親が仕事で遅く帰ってきたりするからなので決まった時間に食事をするように決める。	松戸国際高校		1					1
78	・和食や栄養バランスのとれた食事をとることはカッコいいという広報を考える。	松戸国際高校							1
79	・15歳未満は保護者の同伴なしに飲食店を利用できないよう条例をつくる。	松戸国際高校							1
80	・食の環境はまず自分が、そして家族がきちんとすることが大事。	松戸国際高校							1
81	・良いお手本となる食事をつくり広報する。	松戸国際高校							1
82	・食育は自分のためだけではなく、親や子供のためでもあるのでこれからも考えていく必要があると思う。	松戸国際高校					1		
83	・買い物の際に食品表示を良く見るようにする。	松戸国際高校							1
84	・健康な国民が健全な国家を築く。食こそ団結の手段。	松戸国際高校							1
85	・学校や職場などで年に1,2回合宿をして食を学ぶ。	松戸国際高校							1
86	・和食の素晴らしさを報道でアピールする。	松戸国際高校							1
87	・一ヶ月に1回、「カレーの日」とか決めてその材料が安くなるようにする。	松戸国際高校							1
88	・「食」について考えられるようなCMをつくり、健康ブームを起こす。	松戸国際高校							1
89	・1週間貧乏体験ツアーを行う。	松戸国際高校							1
90	・常識、マナーの検定を作り、その資格がないと社会に出れないようにする。	松戸国際高校							1
91	・常識、マナーの携帯ゲームをつくる。	松戸国際高校							1
92	・朝食を作ろうキャンペーンを実施し、親から子供に料理を教える機会をつくる。	松戸国際高校							1
93	・「知歯=ちば」歯を知る。歯を健康に保つことやよく噛むことの全身に与える効果について、歯の役目や噛む効能などから知ることが大事。	ミニTM(歯科医師会 地域保健医療委員会)							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
94	・カルシウム豊富な「いわしの田作りスナック」を活用して、県民に不足しがちなカルシウムを摂取し、さらに健康な歯、それによる健康生活を目標とする事業ができるのではないかと。	ミニTM(歯科医師会 地域保健医療委員会)						1	
95	・わかっていることを実践するのが難しいので、少しの工夫や努力でかわっていきけるきっかけ、アイデアとなる計画にしてみたい。	安房			1	1			
96	・核家族のため、昔からの良い食生活が伝わらないので高齢者との食事づくりにより学ぶ。	安房						1	
97	・一人ひとりの認識が大切だと思う。PTA、その他関係団体などで情報を公開していかなければならないと思う。	山武					1		
98	・歯を知ることが重要であり、歯に役目、噛むことの効用を知ってもらうために、「知歯＝ちば」と命名し事業の提案をした。千葉の特産品である「いわし」に着目した「いわしの田作りスナック」を活用して取り組んでいる。	ミニTM(歯科)						1	
99	・「食」が当たり前になっている今、見つめ直すきっかけを見つけることが大切。	印旛						1	
100	・いろいろな体験を通して、地域とのつながり、食の大切さを学んでいけると思うが、すぐに効果がでるものではないので地道な活動を続けていくことが大事だと思う。	印旛							1
101	・食育はいついつな切り口がある。それを活かして、取り組むべきいついつな方法があることを	印旛						1	
102	・色、つや、形でもものを選ぶ消費者の意識改革が重要。	印旛		1				1	
103	・地域の人たちで自分たちの地域にちなんだお弁当づくりをする。	印旛							1
104	・食育への取り組みは、担当者、学校、市町村によって格差があると思う。誰でも分かるように保護者向け、教職員向けの資料が欲しい。	印旛				1		1	
105	・TVでスーパーでの買い物時に子供から親に野菜が足りないと教えているところを見た。子どもを対象にした取り組みをすることで、親の教育につながると思う。	印旛	1						
106	・核家族を廃止して、三世同居を目指す。	香取						1	
107	・ボランティアを活用して、いい方法を考えてはどうか。	香取						1	
108	・「食」が大切なので、千葉県食育を推進していくことが、仕事に活かせるような方法を探りたい。	香取	1	1					
109	・毎日食べる食の大切さ、地域でとれる食材、その季節にとれたものを食べるなど、身近なところから実践していこうと思う。	香取							1
110	・忙しい世の中だが、食事を大事にすることが気持ちのゆとりを生むことにもなると感じた。	香取							1
111	・食育を考える話し合いに市町村が出席することが大切だと思う。	香取							1

(2) 食育月間の設定・実施(6件)

1	・「父親料理の日」を制定する。	君津							1
2	・「食育の日」をつくる。	君津							1
3	・「男の手料理の日」、「子どもの手料理の日」を制定する。	君津							1
4	・毎月19日に食育に関する活動を一斉に行う。	ミニTM(食改)							1
5	・社会全体で週に1日、「家族で食べるDay」を決めて実践する	松戸国際高校							1
6	・郷土料理を学ぶ日、家族で料理をつくる日をつくる。	松戸国際高校							1

(3) 継続的な食育推進運動(48件)

1	・地域の料理の紹介や食育についてのテレビCM、番組を作成するなどマスメディアを利用する。(6件)	市町村、香取、山武、君津							1
2	・料理レシピ、共食(誰かと一緒に楽しく食事をする)のすすめ、食育に関することなどを新聞や市の広報紙などで広報、提供する。(5件)	市町村、印旛、君津、ミニTM(食改)、松戸国際高校							1
3	・年代に応じたキャッチフレーズをつくる。(年代に応じたもの、「あなたが元気で生き続けるためにきちんとした食事をしよう」)(2件)	君津							1
4	・料理は手づくりだと時間もお金もかかるが、そうした「料理は大変」という意識を変えるような広報をし、興味をもってもらえるようにする。(2件)	君津							1
5	・市町村の特産物を利用した献立や弁当、給食等を募集し、冊子を作り配布する。(2件)	市町村、君津							1
6	・楽しく、分かりやすく、身近なキット(ポスター、寸劇)を作る。(2件)	市町村、ミニTM(シンボ実委)							1
7	・食育推進のためのキャラクター(マスコット)をつくる。	市町村							1
8	・郷土料理コンテスト、ちびっ子自慢料理コンテスト、栄養フェスタの開催をしています。	市町村							1 1
9	・宮城県で行われた民族研究家の結城登美雄氏が開催した各家庭の味を持ち寄る「食の文化祭」を千葉県で開催するのはどうか。	ミニTM(シンボ実委)							1
10	・料理教室などのイベントの広報は、ホームページよりタウン誌の方が参加者の反応が良い。	ミニTM(東京電力)							1 1
11	・ゲーム感覚で取り組めたり、「5 a day」など分かりやすいもので取り組むようにする。	君津							1
12	・日本人は食事の場にふさわしい話術がないので、それを身につけるような取り組みをする。	君津						1	1
13	・カラービデオなどで、戦後の食料事情と今の状況を比較させる。	君津							1
14	・県で食育に関するホームページを作成する。	君津							1
15	・自分の身近にある食材を調べる。	君津							1
16	・「食」を仲間との話題にする。	君津							1
17	・歌でPRする。	君津							1
18	・何をどのくらい食べたら良いか知るようにし、食事を選択できるような「食選」の力を身につけるような取り組みを行う。	君津						1	
19	・一人一品自慢料理コンクールを開催する。	君津							1
20	・飲食店やコンビニが食に関する情報の発信源となれば良い。	夷隅							1
21	・「食べる、たいせつキッズクラブ」...小学生(3~6年生中心)を対象とした通信教育型食育プログラムの取り組みをしている。	ミニTM(生協)							1
22	・関心のない人を呼んでくるというのは不可能。こちらから出向いていたり、人のたくさん集まる場所で呼びかけを行ったりしてはどうか。	ミニTM(生協)		1				1	

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
23	・県民がたくさん参加するようなイベントに分かりやすい「YES NO」ボードのような掲示物で興味をもたせるようにする。そのように各種団体が行うイベントに県の計画について話し合ったり、意見をもらったりするような取り組みをしてはどうか。	ミニTM(生協)						1	
24	・県の食育ボランティアさんと活動してみても、積極性に欠けているという印象を持ったので、企画レクチャーなどの講習会をしてはどうか。	ミニTM(生協)		1				1	
25	・幼児のときから具体的に実践できるよう(ラーメンの汁は全部飲んではいけない等)分かりやすい媒体で教える。	ミニTM(食改)						1	1
26	・千葉県各地で親子で学べる食育イベントを開催する。	FAX						1	
27	・忙しくても野菜等のとれる調理方法が知りたい。	千葉				1		1	
28	・料理が分からない人のために野菜売場に料理レシピを置く。	松戸国際高校						1	
29	・レストラン、スーパーなどで簡単に作れる料理のレシピを配る。	松戸国際高校						1	
30	・紙芝居で食の大切さを訴える。	松戸国際高校						1	
31	・図書館に食育関係の資料を置く。	松戸国際高校						1	
32	・手軽に作れる自宅冷凍弁当のつくりかたを広報する。	松戸国際高校						1	
33	・料理教室のレシピをスーパー、コンビニなどに知りやすく、山市有はのる程度のも(10ヶ月以上の赤ちゃんは保育つき)。食育に関心がある人はいる。ない人もいる。ない人に出てきてほしい。	山武						1	
34	・環境に配慮した食育に関するキーワードをファミレスや飲食店などいろいろなところで目に来るようにしたい。	山武						1	
35	・食育に関することを知る機会があまりないので、PRが必要だと思う。	山武						1	

(4) 各種団体等との連携・協力体制の確立(70件)

1	・行政は、PTAや食生活改善会などの各団体や個人の活動者をまとめ、地域で活動が円滑に進むよう調整役を果たして欲しい。(8件)	東葛飾、夷隅、安房ミニTM(学校栄養士会)、(アグリ)、(生協)					1	1	
2	・行政組織内部の連携が必要。担当課だけではなく、関係課にもしっかり関心をもってほしい連携して取り組んでもらいたい。(7件)	長生、ミニTM(食改)					1	1	
3	・行政は食生活改善協議会の活動が広がるよう、PRや場づくりをするなどバックアップしてほしい。(7件)	夷隅、ミニTM(食改)					1		
4	・現代社会では、加工食品や外食(コンビニ、ファーストフード)を利用することが多いので、外食産業関係の方々にも協力していただけたらと思う。(4件)	海匠、君津、ミニTM(保護者)					1	1	
5	・行政には施設の確保をして欲しい。学校の給食室や調理施設などを活用できるよう、時間や使用制限などの制度の改善をしてほしい。(4件)	長生、ミニTM(生協)、(食改)					1	1	
6	・活動する際の人集めに協力して欲しい。(3件)	ミニTM(食改)					1		
7	・草の根的なイベントではなかなか広がらず、主催者側だけの満足に終わってしまうのではないかと。大手スーパー等の協力で先取的なイメージの取り組みの方が効果的だと思う。	市町村						1	
8	・各団体の活動から問題点は把握できていると思うので、それを解決できるような実際の体制づくりが必要。行政的には予算等もあり早急に対応は難しいと思われるので、今日の参加団体等が連携して体制づくりをしていけばよい。	ミニTM(シンポ実委)	1					1	
9	・連携には地域を詳しく知っている人(改良普及員など)、地域の人を集められる人が必要。	ミニTM(シンポ実委)						1	
10	・1つの団体だけの事業ではなかなか人が集まらないので、行政と連名での文書を出すなどいっしょに活動して欲しい。	ミニTM(シンポジウム実委)					1	1	
11	・自社の活動が広報されると他企業との協働がしやすい。	ミニTM(東京電力)							1
12	・学校へ活動を持ちかけた折、企業PRと警戒される。	ミニTM(東京電力)		1					1
13	・行政との話し合いの場は、企業にとっても有用。	ミニTM(東京電力)							1
14	・学校側に活動を持ちかけたときに警戒されてしまうこともあるので、食育活動をしていることについての情報が広く知られているようになれば活動しやすい。そうした仕組みづくりが望まれる。	ミニTM(東京電力)					1	1	
15	・他の企業の取り組みや理念なども公開されていけば、連携活動もしやすいと思うので、企業同士の話し合いの場を設けて欲しいと思う。	ミニTM(東京電力)					1	1	
16	・他企業とコラボすることにより、一つの興味をもつ人の集客のみでなく、違う点に興味を持つ人を一緒に参加させることが可能となる。	ミニTM(東京電力)						1	1
17	・各地域の自治体と連携できるとよい。	ミニTM(東京電力)						1	
18	・加工食品メーカーとして何に取り組むべきか考えているが、他にどういう関わり方ができるか行政とも話し合っていて進めていきたい。	ミニTM(石井食品)			1			1	
19	・学童保育や全児童学級で食育の視点をもった「おやつ」を導入できるように、教育・福祉関係部署と連携を持って欲しい。	君津					1	1	
20	・農林、学校だけでなく、環境もまきこんだ活動ができればと思う。(マイ箸、生ゴミを減らす)	夷隅						1	
21	・各ボランティア団体に県の担当が回り、個性を生かした役割を指示してはどうか。市町村の中にはいろいろなグループがあるので、活動するにも入っていいところと悪いところが分からない。	夷隅		1					1
22	・仕事を持っている人でも参加できるようなプログラムを考えてほしい。	夷隅					1	1	
23	・県事業の「ちば食育ボランティア活動促進事業」によりつながりのできた「ちば食育ボランティア」と継続して料理教室などの活動をしている。	ミニTM(生協)							1
24	・メーカーや生産者と連携して食の大切さについての理解を深める「食育探検隊」という取り組みをしている。	ミニTM(生協)							1
25	・食に関して誰に聞いたらよいか分からないという状況にあるので、相談できる場所やQ&Aを発行するなど、情報提供の場づくりがひつようである。	ミニTM(衛生短期大学)					1	1	
26	・行政はいろいろな面で食育に関して理解が少なく、協力が得られないので改善して欲しい。	ミニTM(食改)					1	1	
27	・保育所や幼稚園と連携しながら活動していきたい。	ミニTM(食改)					1		

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
28	・食生活改善協議会活動の補助金は減らされるが、活動は増やされている。行政は協議会の活動に関心を向けて欲しい。	ミニTM(食改)				1			
29	・基礎的な知識の教育など会員が自信を持って活動できるような体制づくりをして欲しい。	ミニTM(食改)				1			
30	・食生活改善協議会だけでなく、地域の他団体と連携して活動していく。学校や老人クラブなどとは既に活動しているが、PTAや道の駅などとも活動していきたいと思う。	ミニTM(食改)				1	1		
31	・健康、教育、農林の連携は効果的であると思う。	ミニTM(食改)				1	1		
32	・行政組織内部の連携、行政とボランティアとの連携が必要と考える。	ミニTM(食改)					1		
33	・いろいろな立場の方からの食育に対する熱い思いを聞く場があれば、自分との接点も分かりやすいと思う。	東葛飾				1		1	
34	・私は20年来食育の取り組みをしている生産者で、県の食育ボランティアもしていますが、県のボランティア制度からの依頼はありません。学校側としても知らない人には気軽に頼れないのは当然です。パンフでの紹介ではなく、ボランティアと先生、栄養士が顔を合わせて話し合う場が大切と考えます。	東葛飾		1		1			
35	・農業委員の斉藤さん、野田市立二ツ塚小学校の取り組みは素晴らしいと思った。このような市民、学校、行政が一体となった取り組みをもっと推進して欲しい。(東葛飾タウンミーティング事例発表)	東葛飾				1			
36	・柏市で農業者と市民が意見交換する場を設けている。食について、すべての人が語り合うこと、理解しあうことから農業を大切にできるようになる。	東葛飾							1
37	・子供に農業体験をさせたいが、情報が分からない。草取りとかでもいいので、体験の橋渡しをして欲しい。(5-3にも掲載)	ミニTM(保護者)				1		1	
38	・行政のイベントは、行政の性質からか焦点を絞ったものは実施していないので、ターゲットにしている人達に来ないのではないかと。民間企業と連携すれば、特定の人達を呼びかけたとしても問題はないので、その問題も解消されるのではないかと。	ミニTM(サンケイリビング)			1		1		
39	・高齢者向けの千葉県の特産物を使用した簡単で安全な料理パンフなどを発行してもらえたらと思う。また、火を使わずに簡単に調理でき、栄養もわかるレシピがあると良い。	千葉				1		1	
40	・食育の取り組みを学校でする際には、学校側に押し付けるのではなく、行政や地域が連携して円滑な活動ができるような体制づくりが必要。(2-1にも掲載)	海匠地域			1		1		
41	・県はスポーツジムと提携し、県民が健康的なダイエットを行えるよう支援する。	松戸国際高校							1
42	・生産者、学校、地域等、関係者間の連携が必要。	香取						1	
43	・学校給食の栄養士と協働したり、高齢者が行う事業として取り組んだり、まちづくり、地域おこしも期待できるのではないかと。	ミニTM(歯科)						1	

(5) 民間の取組に対する表彰の実施(1件)

1	・全国初の「食生活免許」制度の創設(生涯継続的、グレードを分けるなど野菜マイスターのようなもの)する。	君津							1
---	---	----	--	--	--	--	--	--	---

(6) 国民運動に資する調査研究と情報提供(4件)

1	・全国の同じような立地や人口等の地域が、どのような活動をしているかという情報が欲しい。	夷隅				1	1		
2	・あまり食育に関心をもっていない人にも「なぜ食育が必要なのか」ということを理解してもらうには、実践者・行政・専門家・企業などでなぜ関心が持てないのかという調査をする必要もある。	東葛飾		1				1	
3	・食生活に関する相談会を行っているのかもしれないが、そうした情報がなかなか入ってこない。	東葛飾		1					
4	・買い物に行った時、ついでに参加できるような気軽な食生活相談会があれば参加したい。	東葛飾				1			

(7) 食育に関する国民の理解の増進(9件)

1	・若い世代に食育の大切さを理解してもらうために「こんな食生活をするとこんな未来につながってしまう。今、こう気をつける事でこう改善される」というようなシュミレーションゲームやイエス・ノーゲームのようなものを配布すると実感が沸きやすいのではないかと思います。	市町村							1
2	・子どもたちのファーストフード好きなどは、テレビなどのメディアからの影響が大きいと思うので、メディアは正しい情報を提供して欲しい。また、消費者側も情報を選択できるようになって欲しい。	ミニTM(シンポ実委)		1		1	1		
3	・働く女性が増え、手づくりおやつは影をひそめる傾向にあります。親子のコミュニケーション、栄養、地産地消などの点から受け継いでいきたい。	FAX		1				1	
4	・専業主婦も朝食の見直しを。企業も1日の始まりとなる大事な朝食の開発やアイデアを市場に提供し、少子化の問題もあることから基本的食生活をしっかりサポートするのは今だと考えます。若いお母さん方の食生活は大変乱れている。	FAX		1	1				
5	・食育講演を年50~60回しています。最も受講者が耳を傾け食の知識をお持ち帰りするのは、難しい栄養学ではなく、楽しく、やさしく、分かりやすく、より具体的な内容です。幼児には、エプロンシアターや寸劇等で関心を引き、保護者には、攻め立てるのではなく大切なことはなにかメッセージを伝えバランスの良い食卓作りにチャレンジしてみようという気持ちにもっていく。	FAX						1	1
6	・食育に関する標語を募集する。	君津							1
7	・心と体で体験することこそ充実した食育になる。	夷隅						1	
8	・児童、生徒はもちろん、高齢者が集まる場所へも食育ボランティアが出向き、栄養や健康等について小セミナーを行う。集まりが悪い時もあるだろうが小さな活動が数多くされることに意義があると思う。	FAX						1	
9	・現代の人達に食生活の変化を訴えても理解されにくい。分かりやすい数値(お米の消費量が40年前の約半分など)を掲載したポスターを作成する。	FAX							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	

(8) ボランティア活動への支援(1件)

1	・ボランティアの働き場所を公募などを行い、与えて欲しい。	香取					1		
---	------------------------------	----	--	--	--	--	---	--	--

(9) その他(4件)

1	・親子料理教室は、料理を作って食べるのみではなく、親子で一緒に時間を過ごすなどの効果が得られる。	ミニTM(アグリ)						1	1
2	・行政のものはつまらない広報物になりがちなので、それでは目を引かないし、興味を持ってもらえないと思う。	ミニTM(生協)		1					1
3	・単発イベントでも、クイズを盛り込むなどの楽しめる企画を入れると参加者の心に残りやすい。	ミニTM(生協)						1	
4	・市でも県が行っているようなタウンミーティングを開催して欲しい。	ミニTM(食改)				1			

**5 生産者と消費者の交流の促進、
環境と調和のとれた農林漁業の活性化等(133件)**

(1) 現状と今後の方向性(23件)

1	・農業が発展するよう、農家を公務員にする、補助金を交付する、支援体制づくりをするなどの取り組みを行う。(2件)	東葛飾、松戸国際高校							1
2	・日本の食料自給率は40%なので、農業の活性化と農家の育成が必要と考える。(2件)	印旛、FAX	1	1				1	
3	・生産しなければ食べられないのに、農業のことを知らない人が多すぎる。	ミニTM(アグリ)		1					
4	・漁業への理解を深めて欲しい。後継者問題。	夷隅		1		1			
5	・環境にやさしい食育推進指針を策定して欲しい。	FAX				1	1		
6	・都市開発と農業の共生を考える。若者が都市に集中してしまうことも問題。	FAX		1					
7	・食料自給率の低下は、社会全体の問題ということを国民が認識すべき。農業を軽視してきた結果だ。	東葛飾	1	1					
8	・便利などところに直売所があればいいと思う。	ミニTM(保護者)				1			
9	・八百屋さんやスーパーでも直売所で売っているような小さいジャガイモなどのB級規格といわれるものを購入できるようにして欲しい。	ミニTM(保護者)				1			
10	・安く新鮮でおいしいものが手に入るようなシステム作りをして欲しい。	ミニTM(保護者)				1			
11	・農家との付き合いがあった方がいい 交流の場があったほうがいい。	ミニTM(保護者)				1		1	
12	・銚子のキャベツとダイコン、飯岡のトマトを使って料理コンテストを行っている。こうした取り組みから産地を盛り上げていきたい。	海匝							1
13	・税金で畑を作り農業を発展させる。	松戸国際高校							1
14	・企業が自社敷地内で栽培した農産物を高く買い取り販売する業者をつくり、企業に農産物栽培をすすめる。	松戸国際高校							1
15	・植林をしたり、野菜を育てたりして自然の大切さを理解し、環境破壊について考えるようにする。	松戸国際高校							1
16	・農地を広げて、失業者を雇って農業を発展させる。	松戸国際高校							1
17	・バイオテクノロジーを利用して地下で農産物栽培をする。	松戸国際高校							1
18	・自給率を上げるには、CMや広告を通して農業を前向きにPRしていく必要がある。	松戸国際高校							1
19	・農家をすべて合併させて一つの企業にする。	松戸国際高校							1
20	・関心の高そうなものと体験をセットにしたイベントを企画すると参加者が多い。	印旛	1						1
21	・栽培にこだわったものを求めている消費者もいるので、手に入るような流通を考えてもらいたい。	香取					1		

(2) 都市と農山漁村の共生・対流の促進(18件)

1	・生産県である千葉の魅力「食材を育てる(農林業)、とる(水産業)」を活かし、農林水産業への関心を高めるよう一坪菜園の貸し出し、食育体験ツアーを行う。(3件)	海匝、ミニTM(食改善)、FAX							1
2	・生産者は発表する場、展示する場を求めている。交流が必要。	ミニTM(シンポ実委)				1	1		
3	・体験受入も個人一人だけでは受け入れにくい。	ミニTM(アグリ)		1					
4	・農業体験の受入の際、年齢によって作業を分けて考えなければいけない。また、収穫だけにしか来ない人もいる。	ミニTM(アグリ)		1					
5	・県では新品種にも力を入れ「千葉ブランドの確立」の取り組みをしているが、食育推進運動にふさわしいことと思う。県産品がいつでも手に入るように、市町村に必ずある農業協同組合で買えるようにしてはどうか。	郵送							1
6	・直売所を充実させる。	君津							1
7	・市民農園を普及させる。	君津							1
8	・地域の農業を知るようにする。	君津							1
9	・休耕田畑を市が借上げて、家庭菜園として貸し出してはどうか。	君津							1
10	・組合員が主体になって企画し、生産地を見学する産地見学会をしている。	ミニTM(生協)							1 1
11	・田んぼ周辺の土地を利用し、生産者の考えたクイズを題材にしたウォークラリーを開催した。	ミニTM(生協)							1 1
12	・行政主導の生産者との交流会に参加したが、行政側が話していて、直接生産者と話し合える場が少なかった。	ミニTM(生協)							1
13	・ある町で、生産者と話しをしながら会場を回れるような構成となっているイベントがあった。このような話のできる場を設定して欲しい。	ミニTM(生協)							1 1
14	・都市部の人には、退職者で「農」に興味をもっている方がたくさんいる。そうした方々にイベント、道の駅、農業法人直営レストランなどの案内情報が目にふれるようになると良いと思う。	FAX							1
15	・産直の推進など県民の食生活を豊かにする取り組みをする。	FAX						1	
16	・野菜を収穫してから店頭まで間に鮮度が落ちるので、すぐ売れるような施設を作ったり、惣菜を売るところをつくる	松戸国際高校							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	

(3) 子どもを中心とした農林漁業体験活動の促進と消費者への情報提供(39件)

1	・一鉢からでもいいので、子ども達に農産物栽培体験を行う。(9件)	東葛飾、夷隅、君津、 松戸国際高校						1	
2	・小・中学生のうちから農業体験・調理体験・販売体験をさせて、食べ物を作る大変さや大切さについて学ぶ取り組みを推進する。(5件)	安房、君津、ミニTM (学校栄養士会)、松 戸国際高校、FAX						1	
3	・子ども達に対して、農作業体験や地域の農業者との話し合いなどの取り組みをこれからも続けて欲しい。(4件)	印旛、香取、君津				1		1	
4	・野菜嫌いの子も自分で栽培、収穫したものは食べる。お母さん方の「食べない」といった思い込みや食わず嫌いで野菜離れが進んでいるのではないかと。栽培を通して、「食」への意欲が高まると食欲もわくのではないかと。食欲=意欲。(3件)	印旛、香取					1		1
5	・県で推進している「千産千消」を進めるためには、地域の農林水産業の活性化が必要。	郵送			1				
6	・農産物栽培に対して援助を行う。	君津						1	
7	・「食」の生産の過程が分かるような取り組みをする。	君津						1	
8	・高齢者が学校で食農教育などで活動できる場を作って欲しい。(2-1にも掲載)	夷隅						1	
9	・知識も大切だが、体験に勝るものはない。農業体験なるものがあると思うが水産業体験についても取り上げて欲しい。	夷隅				1		1	
10	・県内の農業者の方やボランティアの方と接する事のできる食育を考えた体験学習(宿泊)の実施。	東葛飾						1	
11	・農業の体験を通して、食育についてより深く考えることができるとも素晴らしいと思う。	東葛飾						1	
12	・野田市立二ツ塚小学校のような取り組みが、より多くの学校で実践されればと思う。(東葛飾タウンミーティング事例発表)	東葛飾						1	
13	・学校の農業体験の取り組みで相談を受けた時、移動にかかる経費工面ができなくて続けられなかったことを聞いた。必要な経費について、予算手当てをする必要がある。	東葛飾				1	1		
14	・子供に農業体験をさせたいが、情報が分からない。草取りとかでもいいので、体験の橋渡しをして欲しい。(4-4にも掲載)	ミニTM(保護者)				1		1	
15	・学校で農産物をつくる授業を行う。(2-2にも掲載)	松戸国際高校						1	
16	・学校や幼稚園で農業体験などを企画して、後継者の育成につとめる。	松戸国際高校						1	
17	・学校農園をつくり、農産物を栽培し、給食に使用する。(2-4にも掲載)	松戸国際高校						1	
18	・保育園から大学までそれぞれ農園をつくる。	松戸国際高校						1	
19	・学校で農業体験をして農業の楽しさや大切さなどを学び、農業衰退を防ぐ。(2-3にも掲載)	松戸国際高校						1	
20	・給食施設で使用する食材は、加工・冷凍ものが多いと思うので、それぞれが栽培するようにすれば勉強にもなると思う。(2-4にも掲載)	松戸国際高校						1	
21	・学校で取り組んでいる食育と生産現場をつなぐ橋渡しのシステムの構築、育てたものを食べるという体験を繰り返し、「もったいない」という気持ちを育てることを期待している。	山武						1	
22	・保育園で農作物栽培体験をした。子ども達のいきいきとした表情から見ても学ぶことは多いと感じた。	香取						1	

(4) 農林漁業者等による食育推進(4件)

1	・千葉の特徴として、生産量が多い牛乳や漁業関係者についても、計画づくりに参加してもらった方が良い。	ミニTM(シンポ実委)						1	
2	・生産者と消費者の交流の場を設ける。	君津						1	
3	・休耕田畑を活用した農産物栽培を行う。	君津						1	
4	・栽培体験や酪農体験を通して思うのは、受け入れてくれている生産者の方々の手間を考慮しなければ継続的な取り組みは難しいということ。負担を思ってお礼を高額にしたいとも思うが、参加費との兼ね合いもあり難しい。また、駐車場やトイレの確保などの問題もある。	ミニTM(生協)			1			1	

(5) 地産地消の推進(46件)

1	・地元産野菜を取り入れた学校給食は、学校と地域と家庭を連携させることになると思う。学校給食への使用促進を推進して欲しい。(2-4にも掲載)(6件)	香取、長生、君津				1		1	
2	・地産地消推進のため、地場産物を購入するようにしている。(4件)	君津						1	
3	・地産地消の推進に取り組んで欲しい。(4件)	夷隅、君津、ミニTM (食改)						1	
4	・地域で取れた野菜を使った料理をもっと知りたいので、料理講習会を開催して欲しい。(3件)	海匠、夷隅、君津				1		1	
5	・米を使った料理を普及させて、お米の消費拡大運動に力を入れる。(2件)	君津、松戸国際高校						1	
6	・地場産物を使用した料理講習会を開催する。(2件)	ミニTM(食改)						1	
7	・地場産の野菜等を手に入れるのが困難。(2件)	東葛飾、海匠			1				
8	・千産千消を推進していくためにも、県産食材を地域で消費できるような流通整備が必要。	ミニTM(シンポ実委)				1			
9	・農家との交流を通して、地域の農産物に関心を持たせる。給食にも地元の野菜を取り入れ、アピールし、関心を高める。(2-4にも掲載)	ミニTM(学校栄養士 会)						1	
10	・地産地消推進のために、学校給食への地元産野菜の直接納品を増やすよう努力している。(2-4にも掲載)	ミニTM(学校栄養士 会)							1
11	・食育を若いお母さん達に取り組んでもらいたい。給食に地域の産物を使って子どもたちに食べさせたい。(2-4にも掲載)	長生						1	
12	・地元食材を使った若い人好みの料理を作りPRする。	君津						1	
13	・畑から採ってきたままの姿の農産物が手に入れば、各家庭で多少なりとも食育ができるのではないかと。しかし、実際は親がめんどうでやらない可能性の方が高いと思う。(1-7にも掲載)	東葛飾	1						1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
14	・千葉のおいしい新鮮野菜は、加工向けにしないで生鮮で販売されるようにして欲しい。	東葛飾				1			
15	・地産地消にも通じると思うのだが、旬の野菜を積極的に取り入れる項目を推進計画に盛り込んでもらいたい。	東葛飾				1	1		
16	・農業後継者の育成のためにも地産地消を推進することが大切である。	千葉						1	
17	・行政に学校給食への地産地消推進のしくみづくりにもっと取り組んでもらいたい。(2 - 4にも掲載)	海匝				1	1		
18	・学校給食に地元の食材をたくさん使えるように予算や給食費を検討して欲しい。(2 - 4にも掲載)	海匝				1	1		
19	・学校給食に地元の食材をできるようにJA、行政、学校の連携を図って欲しい。(2 - 4にも掲載)	海匝				1	1		
20	・給食センターを活用した地産地消に取り組んではどうか。行政、生産者(JA、生産組織)、利用者(給食センター)の連携が必要。(2 - 4にも掲載)	海匝							1
21	・センター式の給食よりも自校式のほうが美味しいし、メニューも増えるのではないかと。また、地場産物の使用をしたいが、予算の都合から難しい。(2 - 4にも掲載)	海匝				1			
22	・国産のものを買うとポイントがもらえるような制度をつくる。(3 - 2にも掲載)	松戸国際高校							1
23	・コンビニ、ファミレスで和食を買うとポイントがもらえるような制度をつくる。(3 - 2にも掲載)	松戸国際高校							1
24	・保育園から大学までの給食、学食などで洋風化にならないよう呼びかけたりしてお米の消費を増やす。(2 - 4にも掲載)	松戸国際高校							1
25	・もっと米を食べるようになれば農業生産率も上がるし、国内総生産も上がると思う。	松戸国際高校							1
26	・企業に国産品を売るようにさせる。	松戸国際高校							1
27	・国産野菜をスーパーで安く販売する。	松戸国際高校							1
28	・自給率を上げるために朝食はご飯を食べるようにする。	松戸国際高校							1
29	・観光交流施設「くすの木」。地元産食材の使用に努めていて、食べて懐かしくなるような食事を心がけている。	安房							1
30	・学校給食への地産地消を推進する上でも、食育推進計画の中で農業者と学校を結びつけるシステムづくりをして欲しい。	香取				1	1		

(7) その他(3件)

1	・九十九里海岸で獲れるハマグリやナガラミが最近味わえなくなった。乱獲を止め、以前の様に一般客による貝拾いや地元関係者の手作業でとれるナガラミをいつまでも保全して欲しいと思う。	市町村					1		
2	・自給自足の推進をする。これ以上緑を壊さず増やす取り組みが必要。下水道を整備して、海や河川の汚染を減らす。そして、湧き水や安全な雨水などを利用して農業用水にする。	FAX					1		
3	・規格外の農産物でも工夫しだいで商品化することができる。また、特産品の梨でクッキーやパンを作って売ったりするドライブインを県内に建ててはどうか。	FAX							1

6 食文化の継承のための活動への支援等(40件)

(1) 現状と今後の方向性(32件)

1	・行政などが地域の食文化や伝統食(太巻きずし)を継承できる場をつくる。(5件)	夷隅、君津、松戸国際高校							1
2	・郷土料理を知ってほしい。(2件)	ミニTM(食改)				1			
3	・地域食材を使用して調理し、学校にて子ども達と食べる。	君津							1
4	・日々の食生活に伝統的な食文化を取り入れるようにする。	君津							1
5	・千葉県独自の郷土料理を活かした取り組みをする。	君津							1
6	・高校生などを対象にした地域の伝統食についての料理講習会を行う。	君津							1
7	・食を家庭で覚えることが少なくなった。年を重ねた私たちが若い人達に楽しく教えて、教えるというよりいっしょに活動したいと思う。	夷隅	1						1
8	・小学生に太巻きずしづくりを教えている。	夷隅							1
9	・太巻きずし講習を通して、郷土の食文化や「食」への理解を深めてくれている。子供たちや高齢者とのふれあいがうれしい。(8 - 1にも掲載)	夷隅							1
10	・太巻きずしづくりの指導。作る喜びを味わっていただくために文様のきれいな太巻きずしをこれからも教えていきたい。	ミニTM(食改)							1
11	・伝統料理を家庭で作れるように時間のかからない方法など応用例を作って普及させる。	ミニTM(食改)							1
12	・地域、集落行事の復活により食の伝承が図られる。	海匝							1
13	・地域の人々を集めて、公民館等で千葉県の伝統料理の教室を開く。(3 - 1にも掲載)	松戸国際高校							1
14	・学校で伝統料理を学び、みんなが作れるようにする。(3 - 1にも掲載)	松戸国際高校							1
15	・和食、伝統料理のイベントを行う(賞品付きのクイズ大会や和食、伝統料理の販売など)。(3 - 1にも掲載)	松戸国際高校							1
16	・コンビニで地域の伝統料理を販売する。	松戸国際高校							1
17	・学校で日本の伝統料理をつくる調理実習を行う。	松戸国際高校							1
18	・地域の伝統料理を勉強する講習会を開く。	松戸国際高校							1
19	・千葉の伝統料理である太巻き寿司の模様を考え、作れるようにする。	松戸国際高校							1
20	・地元の郷土料理を広めるお祭りをする。	松戸国際高校							1
21	・レストランは地域の郷土料理や特産を活かしたメニューづくりをする。	松戸国際高校							1
22	・伝統料理の日本地図をつくる。	松戸国際高校							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案	提 案	活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
23	・CMで千葉県の伝統料理を扱ったものを流す。	松戸国際高校						1	
24	・自分の地域の伝統料理を知るよう心がける。	松戸国際高校						1	
25	・地域のお年寄りに集まってもらうなどして、公民館などで料理教室をひらく。(3 - 4にも掲載)	松戸国際高校						1	
26	・食事は季節感を出すなど、盛り付けも大事。	安房							1
27	・農産物の安全性についての信用を得られるよう、千葉ブランドを作る。	香取						1	
(2) ボランティア活動等における取組(2件)									
1	・太巻きずし講習は、実際にかかる手間や費用のわりに現在の参加費用設定が低く、講師の負担が重いと思う。その点が普及しない理由なのではないか。	ミニTM(サンケイリビング)			1				
2	・料理を教えてくれるボランティアを増やす。	松戸国際高校						1	
(3) 学校給食での郷土料理等の積極的な導入やイベントの活用(2件)									
1	・子安講、さげ重(集会の際の料理の持ち寄り)の復活。(3 - 1にも掲載)	君津						1	
2	・学校給食に郷土料理を出すようにする。(全国の郷土料理、県民の日の献立など)	松戸国際高校						1	
(5) 関連情報の収集と発信(4件)									
1	・地域の料理や郷土料理の情報を集めて冊子を発行する。(2件)	君津						1	
2	・郷土料理を題材にした「ふるさとの味 四季」を発行した。	君津							1
3	・郷土料理を題材にした「ふるさとの味 四季(君津連合婦人会発行)」を参考にしている。	君津							1
7 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進(77件)									
(1) 現状と今後の方向性(34件)									
1	・栄養バランスの整っているもの、低料金、多種類などを選ぶように、外食・中食産業は考えて欲しい。(4件)	安房、君津、松戸国際高校				1		1	
2	・世界の食料状況を知り、食料は限りあるものということ学ぶ。(2件)	君津						1	
3	・食品製造業といっても千差万別で、業態や個々の企業による考え方の違いなどがあるので、食育について業界全体の方向性というのは今のところ醸成されていない。	ミニTM(石井食品)	1	1					
4	・食の安全性を確保した食材を提供するようにする。	君津			1			1	
5	・食の団欒を通して食の大切さや食の意義を認識させることに重きを置いているが、その前に「食の安全と安心」の確立が大切なことだと思う。	メール					1		
6	・一般的な消費者は正しい情報を求めており、情報が与えられれば判断できる。	ミニTM(衛生短期大学)	1						
7	・行政は取り組んでいるつもりになっているだけ。また、企業の社会的責任として情報提供が重要。判断材料とするには情報不足(表示、CM、広告)。消費者は情報を読み解く力が必要になってくる。	ミニTM(衛生短期大学)			1				
8	・体に悪いものは夜遅くまで売っている。自然食レストランが増えるようにするなど、みんなが気楽に使えるようになると思う。	ミニTM(衛生短期大学)	1					1	
9	・コンビニ、外食産業に塩分や添加物の使用料を制限させる決まりをつくる。	松戸国際高校						1	
10	・食品スーパーに栄養素ごとの売場を設ける。	松戸国際高校						1	
11	・コンビニなどでバランスよく食品が摂取できるように店員が教えるようにする。	松戸国際高校						1	
12	・偏食は小さい頃から改善するべき。子供が嫌いな食べ物を食べられるようにするには企業が工夫した商品を販売すべき。	松戸国際高校						1	
13	・朝食を抜かないように企業が忙しいときでも食べられるような商品を開発する。	松戸国際高校						1	
14	・外食産業のメニューを見直す。	松戸国際高校						1	
15	・偏食を防ぐために外食産業などは注文された料理に合わせバランスを考えた付け合わせを提供する。	松戸国際高校						1	
16	・化学調味料、保存料、着色料の人体に与える影響を知らせる取り組みをする。	松戸国際高校						1	
17	・無農薬の野菜を直輸入しておいしく食べられるようにする。	松戸国際高校						1	
18	・コンビニやレストランの営業時間を短くする。	松戸国際高校						1	
19	・コンビニやスーパーで加工食品を目立つところに置かないようにし、自然食品を目立つように置く。	松戸国際高校						1	
20	・コンビニなどで主食+サラダのセットを安く販売する。	松戸国際高校						1	
21	・外食、中食を利用するときにはバランスのいい食事を心がける。	松戸国際高校						1	
22	・インスタントではなく、保存料をあまり使わない冷凍食品を推進するようにする。	松戸国際高校						1	
23	・外食、中食産業はカロリーを表示するようにし、消費者が選択できるようにする。	松戸国際高校						1	
24	・買い物するとき、表示されているものを確認する。	松戸国際高校						1	
25	・料理をしなくなるので企業はそんなに冷凍食品を開発しなくてもいい。	松戸国際高校						1	
26	・朝食がとれるように業者が配達する。	松戸国際高校						1	
27	・コンビニでも薄味のものや野菜の商品を増やす。	松戸国際高校						1	
28	・コンビニはサイドメニューを充実させる。	松戸国際高校						1	
29	・自分で作った料理と市販もの进行比较してもらいたい。市販のものはいつまでも悪くならないことなどから、自分の食生活を振り返るきっかけとしてもらいたい。	安房						1	
30	・安全面でのテーマ、話し合いが少ない。	香取						1	

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	

(2) リスクコミュニケーションの充実(1件)

1	アンケートを行い、消費者が求める表示についての優先度が高いものについて可能な限り分かりやすく少し詳しい情報まで提供するようにしている。	ミニTM(石井食品)						1	
---	---	------------	--	--	--	--	--	---	--

(3) 食品の安全性や栄養等に関する情報提供(31件)

1	中食、外食産業は原産地表示、カロリー、食品添加物、栄養素などの表示を分かりやすくするようにする。(5件)	市町村、長生、安房、ミニTM(保護者)松戸国際高校						1	
2	外食や中食を利用する際に食事を選ぶことができるような知識(添加物、栄養素など)を県民に伝える必要がある。(4件)	東葛飾、海匝、ミニTM(保護者)					1		
3	コンビニ、スーパーなどに栄養バランスについての資料を置き、それを見ながら買い物できるようにする。(3件)	君津、松戸国際高校						1	
4	半調理品を使う場合、バランス的に何かを足すことが大事。そのプラス部分を分かりやすく表示し広報する。(2件)	東葛飾、ミニTM(保護者)						1	
5	保護者や中高生を対象に今日の講演(食品添加物、食品の作られ方)のようなものを実施して欲しい。(2件)	安房				1		1	
6	食物アレルギーに対する情報を広げ、食事選びが容易にできるような表示がされていたらよいと思う。(2件)	ミニTM(学校栄養士会)、(保護者)				1		1	
7	食前の手洗いの励行(意味の理解と習慣づけ) 汚染物質や変質の検査試薬キットを用いた簡易検査(微生物&衛生検査、残留殺虫剤検査、残留菌性物質検査、カビ毒検査、その他) 冷蔵庫の掃除、割れた卵の処理、アイスクリームの購入日の記録、転用ペットボトルのカビのチェックなど、その他家庭における安全管理教育	メール							1
8	情報をオープンにするよう取り組んでいる。	ミニTM(石井食品)	1						
9	最近の消費者の傾向としてマスコミに影響を受けやすいと感じる。	ミニTM(石井食品)	1						
10	関心の高いアレルゲンや添加物の情報を可能な限り提供している。	ミニTM(石井食品)	1						1
11	消費者の多くが、商品の選び方や賞味期限など判断基準についての知識が不足している。	ミニTM(石井食品)	1	1					
12	食の安全性を確保して欲しい。	君津				1			
13	まず、県民すべてが食べ物や食生活が自身の健康に大きな影響を及ぼすことを認識する必要がある。そのためには、千葉の食文化や食生活を知るより、バランスのとれた食生活を実践することが重要で、学ばなければならない。	東葛飾				1		1	
14	レストランのメニューにカロリーだけでなく、塩分や砂糖の量も掲載する。	松戸国際高校							1
15	使用した添加物や農薬に関する情報を商品に大きく表示する。	松戸国際高校							1
16	コンビニ弁当に栄養バランスの表示をする。	松戸国際高校							1
17	レシートに総カロリーを表示する。	松戸国際高校							1
18	カロリー表示をもっと大きくする。	松戸国際高校							1
19	スーパーで売っている野菜に原産地を表示させる。	松戸国際高校							1

(4) 基礎的な調査・研究等の実施(3件)

1	店頭食品の表示検査を行う。	君津							1
2	消費者自身が実施できるような自分でチェックできるような自主検査キットの活用を食育活動に取り入れる。	メール							1
3	輸入食糧品の検査を強化する。	FAX							1

(5) 食品情報に関する制度の普及啓発(2件)

1	テレビCMの限られた時間では伝えることができないので、店頭活動を積み重ねるなど努力している。	ミニTM(石井食品)	1						1
2	私たち消費者は、安全なものが店にあると思っている。まず、食育を考える前に食の安全性を確保する必要がある。	東葛飾				1			

(6) 地方公共団体等における取組の推進(6件)

1	有機栽培や無農薬農業を推進する。	FAX							1
2	土壌汚染(農薬を使用していた地域など)の検査や農薬の管理、指導を徹底する。	FAX							1
3	東京都では湧き水、地下水をペットボトル飲料にして売り出している。地域の財産である水が一部企業の利益となるのはおかしいと考えるので、千葉県でも売り出したらどうか。	FAX							1
4	行政は忙しいのであまり負担をかけたくないが、関心は持ってほしいと思う。	ミニTM(食改)				1			
5	母親学級などで親の役割を教える取り組みをして欲しい。	ミニTM(食改)				1		1	
6	飲食店で栄養バランスの観点を取り入れたメニューを開発し、県や国に許可、承認をもらうようにする。	松戸国際高校							

8 その他(72件)

(1) 活動報告(19件)

1	婦人会等の組織の中で調理実習や食育に関する話をしている。	ミニTM(学校栄養士会)							1
2	我が家では、小学1年生から食事の手伝いをさせている。このことで感じたのは、「自分で食事を作ると嫌いなものでも好きになる。」ということ。食べられるようになりホッとしている。	長生							1
3	睦沢町瑞小での稲作りを4年間行っています。1年目には田んぼに入れなかった子どももいたが、今では喜んで参加している。昨年は臼での餅つきもしました。自分の家の子も家で練習をして田植えをした。働くこと、作ることに喜びや興味を持つようになった。	長生							1
4	料理講習会などでも、料理だけではなく地域のダムや農業の話など、違う分野の話しをすると理解が深まりやすい。	ミニTM(アグリ)							1
5	体温の低下予防(保温できるような食生活をしている)。 一人暮らしの人の食生活を気をつける(食べない人が多い)。 食べて動かない、水分はお茶ですますという方が多い。	夷隅							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案		活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
6	・近くの小学校では、新そばの種まきが行われ、孫が3名お世話になっていること、また、食生活改善推進員の活動で調理実習をさせていただいていることもあり参加した。春には米づくりのため、種もみや種子まきをした。秋には稲刈りをし、菜花の種子まきを行います。	夷隅							1
7	・いすみ市で少年水産教室を開催している。昭和60年度から年4回で開催。地元の産業を知るとともに食についての知識も深め、さらに郷土への理解も深めることと考えている。	夷隅							1
8	・市内小学校の親子に太巻きずし講習を実施。	夷隅							1
9	・太巻きずし講習を通して、郷土の食文化や「食」への理解を深めてくれている。子供たちや高齢者とのふれあいがうれしい(6-1にも掲載)。	夷隅							1
10	・太巻きずし講習を子供たちに行っている。活動を通して子供たちの感動にふれることが励みになる。	夷隅							1
11	・日本生協連の「たべる、たいせつ」の取り組み (http://www.jccu.coop/tabetai/eat/index.html)	ミニTM(生協)							1
12	・地域の幼稚園に保護者が集まる機会(家庭教育学級など)に食に関する取り組みを行いたい旨説明したところ、活動できるようになった。	ミニTM(食改)						1	1
13	・あびこ型「地産地消」推進協の事例 親子で楽しむ食農教育(年3回)、エコ農産物料理講座(年2回)、環境保全型農業農産物の栽培(大豆を栽培し豆腐を作り、慣行大豆で作ったものと比べる)、生・消交流会で郷土料理を掘り起こす 誰もが集まれる農業拠点施設づくり	東葛飾							1
14	・毎年、アミューズ柏市民プラザにて、食空間コーディネート展を開いている。今年は11月29,30,12月1,2,3日の予定、29,30日はテーマを「家族の食卓」、「食育」とし、各行事の食卓や食べることを楽しむテーブル、また、色々な問題を抱えながらも前向きに楽しむ食卓を提案し展示する予定。「看護師の作る病児をはげますテーブル」、「こんな給食だったらいいのテーブル」、「日本の美しい行事食・五節句のテーブル」等を作りますので、お時間ありましたら是非お出かけください。	東葛飾							1
15	・保健推進委員会の活動で太巻き寿司づくりを小学6年生に教えている。	海匠							1
16	・職場で月1回、自分達で献立を立てて調理し食事するようにしている。	海匠							1
17	・食生活改善推進員です。学校や地域で食育について、いろいろと伝えていくことが私たちの役割だと思っている。	山武							1
18	・地域のボランティア活動(食生活改善推進員)をみんな楽しく実施している。自分たちの勉強したこと、実習したことを地域に普及していくことが大切なことは理解していても、実践していくことは容易ではない。食改の活動の歴史は古く、地道に活動してきた所ではあるが、最近になって食育という言葉のもとにみなさんの関心が大きくなっている事はとても良い事と思います。	山武							1
19	・富里市の特産である人参を使った料理コンクールをした。	印旛							1

(2) 分類できない提案(21件)

1	・会社等は、30～40代の父母世代に仕事の負担を大きくさせるような組織づくりをしないようにする。	市町村		1					
2	・高齢者の技術を他世代との交流により伝えることで、互いに癒され孤立感の緩和にもつながると思う。	市町村							1
3	・レストランのお子様ランチの内容について、栄養バランスなど内容をもう少し真剣に考えて欲しい。	市町村				1			1
4	・農産物価格を適正にして欲しい。	君津				1			
5	・今日のこのような(夷隅タウンミーティング)講習会をさらに開催して欲しい。	夷隅				1			1
6	・お寿司づくりもいいですが、奥の深い料理教室を開催して欲しい。	夷隅				1			1
7	・朝食欠食している人達に簡単なもの(バナナ・牛乳など)だけでも摂るようにして欲しいことを伝えたい。	ミニTM(食改)				1			
8	・ほとんどの人が安全な食べ物を望んでいると思うが、経済的な理由から買い求めることができていない。安い食品がすべて危険とは言わないが家での可処分所得は限られている。安心できる老後や医療費制度等があれば、多少高くても国内産の食品を購入するようになり自給率も向上し農業者の生活も安定するのだろうが、現実には「食」より他のものにお金をかけている。そこをなくせば食育の機運も高まると思う。	東葛飾				1	1		
9	・核家族化が進んで、食に関する情報が限られてきているように言われているが、インターネットを活用すれば情報は今まで以上にいくらでも得られると思う。	東葛飾		1					
10	・フェアトレードという考え方を国民がもつようになれば世の中は良くなると思う。	東葛飾						1	
11	・イベントの広報の手段としてタウン誌は幅広い年齢層に有効。インターネットでの呼びかけが成功するのは10代から20代前半の若い人向けだと思う。	ミニTM(サンケイリビング)	1						
12	・店内で食べることでできるコンビニを増やす。	松戸国際高校							1
13	・コンビニのサラダをもっと安くして欲しい。	松戸国際高校							1
14	・食事はやわらかいものばかりではなく、固いものも食べるようにする。	松戸国際高校							1
15	・通学電車で朝ごはんを食べていい車両をつくる。また、ご飯の販売もする。	松戸国際高校							1
16	・料理技術の低下を防ぐため、加工品は高く、加工していないものは安く売るようにする。	松戸国際高校							1
17	・飲食店に「外食・中食反対」というポスターを貼る。	松戸国際高校							1
18	・駅前に料理教室を増やす。	松戸国際高校							1
19	・カップラーメン、レストランの料金を高くする。	松戸国際高校							1
20	・家族を増やす。	松戸国際高校							1
21	・成人病予防のための行政にお菓子開発係を設置する。	松戸国際高校							1

通し 番号	意見	タウンミーティング名	現 状	問 題 点	課 題	要 望	提 案	提 案	活 動 事 例
							方 向 性	具 体 例	
(3)感想(32件)									
1	・賞味期限が問題かもしれないが、コンビニでは、まだ食べられるものでも賞味期限がくると捨てられていて「もったいない」と感じると同時に原料を提供している生産者に対し申し訳ないと思う。	市町村		1				1	
2	・子育て中のお母さんに関心を持ってもらいたい	夷隅			1				
3	・同居ではないが孫の面倒をサポートしている。若夫婦は朝食はとるもののレトルト食品が多く、夕食も調理済のものを求めているようだ。採りたての野菜や煮物などを届けるが、子どもたちはあまり食べないようで、家庭の味がなくなり既製品で味覚が統一されてしまうのが悲しい。	夷隅	1	1					
4	・室田先生の講演内容は保育関係者の参加が望ましいと思います。	夷隅							1
5	・様々なボランティアの会での活動がされていることを知り、幅広い分野へと大きな輪になっている地域活動に積極的に参加したいと思った。	夷隅							1
6	・海、山のものに恵まれているが、食事づくりが面倒・大変になってくる。しかし、今日参加して食事の大切さを見直した。	夷隅							1
7	・参加者が少ない＝関心が薄いと感じた。とても良い内容なのに、子育てが終わった方の参加が大半で残念に思う。若夫婦の出産、子育てに結びつく人達の教育について具体的な方策を検討して欲しい。	夷隅					1		
8	・自然で安心、安全な食べ物を口にしたい。	夷隅							1
9	・今日のタウンミーティング(東葛飾)に参加して、色々なお話を聞いて参考になった。取り組まれている方々に感謝。	東葛飾							1
10	・今日のタウンミーティング(東葛飾)に参加して、いろいろな立場の方が食育を考えていることに力強さを感じた。すでにたくさんの活動がされ広がっていると思う。	東葛飾							1
11	・学校給食の試食会には毎回出席しています。幼稚園のお泊り会でおかわりが一番多かったのはみそ汁だったことに、とてもビックリしました。また、学校の栄養士から「手のかかった献立ほど食べてくれない」という話を聞きました。私は、パルスシステムを利用しているので、産直でおいしい野菜を購入しています。野菜は安くて当たり前という考えを捨ててもらいたいです。	東葛飾							1
12	・食事バランスガイドを推進しながら、市川市の健康づくり・健康都市を目指して活動している。	東葛飾							1
13	・魚のさばき方や料理がうまく出来たら良いと思う。	海匠							1
14	・お弁当を買うよりも自分で食事を作った方が良いのだと思った	松戸国際高校							
15	・食育が推進されると、心にゆとりのある生活ができ、ストレスがたまりにくくなるような気がする	松戸国際高校							1
16	・外国では家族と食事をするために仕事が終わらなくても家に帰るというのをTVで見た。それくらい日本でも食を大切にすればいいと思う。	松戸国際高校					1		
17	・いろいろと食育について考えてみて、実際の生活に反映させるのは難しいと感じた(輸出入による世界各国との関係など)	松戸国際高校							1
18	・今日の講演(安房:安部司氏)を聞いて、値段より質を重視した消費活動を行おうと思った。	安房	1				1		
19	・今日の講演(安房:安部司氏)を聞いて、自分の食生活を振り返り恐ろしくなった。添加物を全く使っていない食品をずっと摂取するのは難しいので、少なくする方向で考えていきたいと思った。	安房							1
20	・今日の講演(安房:安部司氏)を聞いたが、どうして安全でない食品が売っているのか分からない。	安房							1
21	・以前、輸入食品を購入した際、防腐剤など薬品がすごく使われていた。今では、家庭菜園で野菜を栽培し食材には気を使っている。	安房							1
22	・今日の講演(山武)に参加して、とても勉強になりました。	山武							1
23	・いかに食育が子ども達の成長に必要なかが村松先生のお話で分かった。	山武							1
24	・食の大切さ、感謝の気持ちなどを21世紀の子ども達に伝えていきたいと思う。	山武							1
25	・人前で話すことはとても難しい。今日の話(山武:村松氏)を聞いて参考になった。	山武							1
26	・今日の講演を聞いて(山武:村松氏)、言葉や表情の大切さで相手に与える印象が変わるのかとしみじみ思った。	山武							1
27	・今日の講演(山武:村松氏)は、とても楽しかった。また聞きたいです。	山武							1
28	・今日の講演(山武:村松氏)は、とても勉強になった。また聞きたい。	山武							1
29	・本日のタウンミーティングに参加して、県の熱意と意欲が伝わった。	香取							1
30	・基本的な生活習慣の大切さを考えさせられた。	香取							1
31	・忙しさにまかせて食事の用意を手抜きになっていたことを反省した。これからはもう少し気配りをしたいと思った。	香取							1
32	・砂糖からてんさい糖に変えました。てんさい糖はとっても良いですよ。	香取							1